Ⅴ　支援事業等

（１）水田活用の直接支払交付金

- 米政策改革の定着に向け、食料自給率・自給力の向上に資する飼料用米、麦、大豆等の戦略作物の本作化とともに、産地交付金により、地域の特色ある魅力的な産品による産地の創造を支援します。また、高収益作物の導入・定着を促進するため、水田農業高収益化推進助成を新設し、支援します。

水田活用の直接支払交付金（1）

【令和2年度予算額3,050億円】

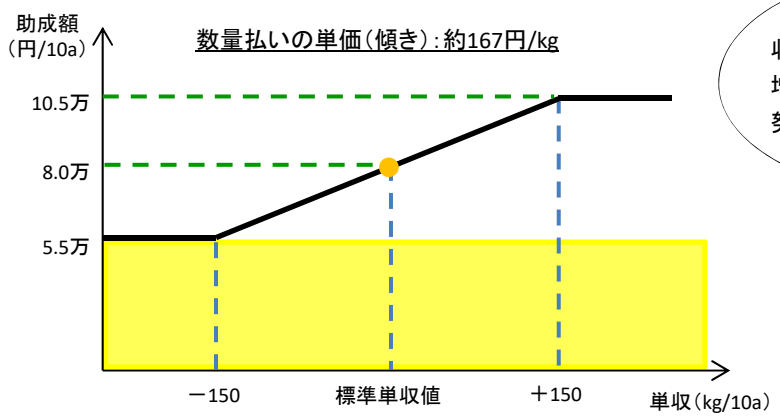
支援内容

① 戦略作物助成※1

対象作物	交付単価
麦、大豆、飼料作物※2	35，000万円/10a
WCS用稲	80，000万円/10a
加工用米	20，000万円/10a
飼料用米、米粉用米	収量に応じ、 55，000円～105，000円/10a

※1　基幹作のみ対象　　※2　飼料用とうもろこしを含む

＜飼料用米、米粉用米の収量と交付単価の関係（イメージ）＞



- 数量払いによる助成については、農産物検査機関による数量確認を受けていることを条件とします。
- 標準単収値の各地域への適用に当たっては、地域農業再生協議会が当該地域に応じて定めている単収（地域の合理的な単収）を適用します。なお、地域の合理的な単収は当年産の作柄（作柄表示地帯別）に応じて調整します。

＜標準単収値の作柄調整の考え方＞

$$\text{標準単収値} = \text{地域の合理的な単収} \times \frac{\text{当年産のふるい目1.70mm以上の10アール当たり収量}}{\text{ふるい目1.70mm以上の10アール当たり平年収量}}$$

（小数点以下切り上げ）

注：水田活用の直接支払交付金については、交付対象水田における対象作物の作付が対象です。

水田活用の直接支払交付金(2)

②　産地交付金

基本的運用

- 地域で作成する「水田フル活用ビジョン」に基づき、二毛作や耕畜連携を含め、産地づくりに向けた取組を支援します。
- 国から配分する資金枠の範囲内で、都道府県や地域農業再生協議会が助成内容（交付対象作物・取組・単価等）を設定できます（一定割合以上は都道府県段階で助成内容を決定）。
- また、取組に応じた配分（下表参照）を都道府県に対して行います。

取組内容	配分単価
飼料用米、米粉用米の複数年契約 ※　3年以上の契約	12，000円/10a
そば、なたねの作付け ※　基幹作のみ	20，000円/10a
新市場開拓用米の作付け ※　基幹作のみ	20，000円/10a

上記のほか、以下の取組について、拡大計画に基づき、年度当初に配分を行います。

①　転換作物拡大加算（１５，０００円/10a）
地域農業再生協議会ごとにみて、主食用米が減少し、転換作物の面積が令和元年度より拡大した場合に、その面積に応じて配分。

②　高収益作物等拡大加算（３０，０００円/10a）
地域農業再生協議会ごとにみて、主食用米が減少し、高収益作物等※の面積が令和元年度より拡大した場合に、その面積に応じて配分。

※　高収益作物等：高収益作物（園芸作物等）、新市場開拓用米、加工用米、飼料用とうもろこし

基本的運用

- 助成内容は以下のルールに即して設定します。

①　地域における水田農業経営の課題に対応し、収益力向上に資する取組に対する助成とすること

②　経営所得安定対策等における趣旨を損なうような助成としないこと（例：品位の低いもののみへの加算）

③　主食用米、備蓄米、不作付地への助成は行わないこと

④　地方農政局長等が特に必要と認めた場合を除き、所得増加に直接寄与しない作物（景観形成作物等）への助成は行わないこと　等

水田活用の直接支払交付金(3)

③　水田農業高収益化推進助成

基本的運用

➢　都道府県が策定した「水田農業高収益化推進計画」に基づき、国のみならず地方公共団体等の関係部局が連携し、基盤整備、栽培技術や機械・施設の導入、販路確保等の取組と併せて、水田での高収益作物への転換等を計画的かつ一体的に推進します。

➢　「推進計画」に位置付けられた産地における以下の取組を支援します。

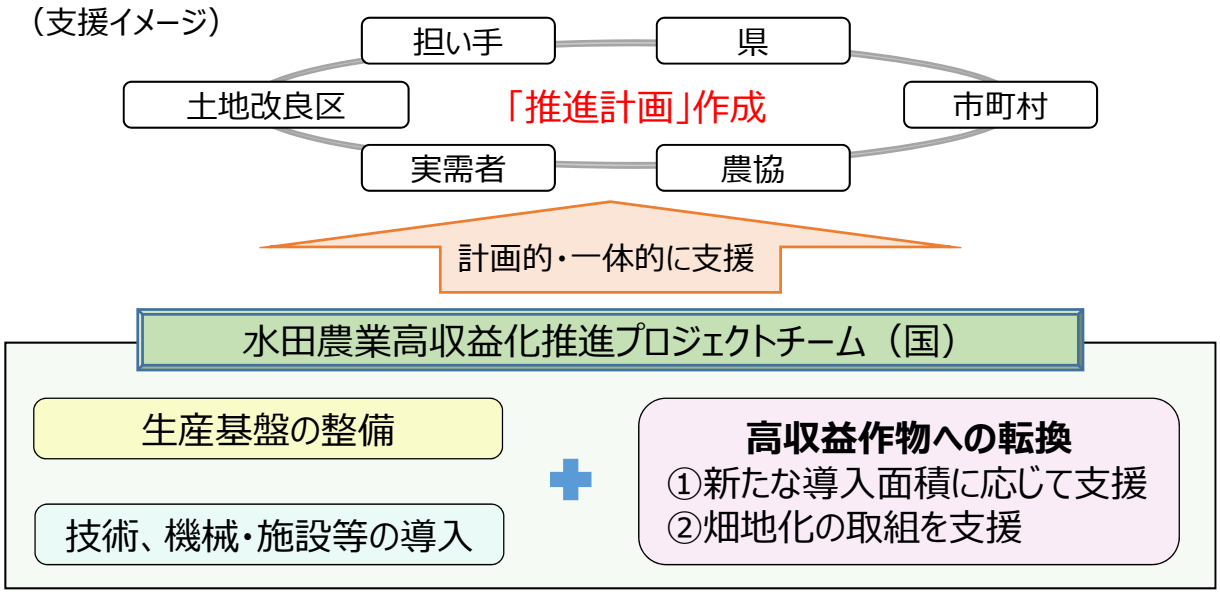
① **高収益作物定着促進支援（20，000円/10a×5年間）**
高収益作物※1の新たな導入面積に応じて支援。(②とセット)

② **高収益作物畑地化支援（105，000円/10a）**
高収益作物による畑地化の取組を支援※2 。

③ **子実用とうもろこし支援　（10，000円/10a）**
子実用とうもろこしの作付面積に応じて支援。

※1　高収益作物：園芸作物等　　※2　その他の転作作物に係る畑地化も同様の単価で支援

（支援イメージ）



水田農業高収益化推進計画

➢　「水田農業高収益化推進計画」は、水田地域で高収益作物の導入・定着等を図るため、以下の内容を盛り込み、都道府県が策定するものです。

〇都道府県・産地段階の推進体制・役割

〇都道府県・産地ごとの推進品目の導入目標や目標達成に向けた取組
- 栽培技術の習得や農地の条件整備に向けた取組
- 活用予定の国の支援策や実施地区
- 基盤整備事業等を活用している場合は、当該事業の「事業計画」とのリンク

等

詳しくは、こちら
https://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/suiden_kosyueki.html

水田活用の直接支払交付金（4）

令和２年産における需要に応じた生産の推進策

【 令和元年度 】	【 令和２年度 】
①転換作物拡大加算（1.0万円/10a） ・都道府県ごとにみて、転換作物が拡大し、主食用米が29年度以降の最小面積より更に減少した場合に、その面積に応じて産地交付金を配分。	**①転換作物拡大加算（1.5万円/10a）** ・地域の取組を直接反映し、麦、大豆等の作付拡大による水田フル活用を推進するため、 単位：都道府県→地域農業再生協議会 基準年：主食用米が減少し、転換作物の面積が元年度より拡大 配分時期：拡大計画に基づき、年度当初に配分（10月→４月）。 （新規）
②平成31年度緊急転換加算（５千円/10a） ・都道府県ごとにみて、転換作物が拡大し、主食用米が30年度の面積より減少した場合に、その面積に応じて産地交付金を配分。（Ｒ１限り）	
③飼料用米・米粉用米の多収品種加算（1.2万円/10a） ・多収品種の取組面積に応じて産地交付金を配分。	**②飼料用米・米粉用米の複数年契約加算（1.2万円/10a）** ・より安定的な生産・供給にシフトするため、多収品種加算を見直して複数年契約加算を創設し、インセンティブ付与。（加算見直し）
	③水田農業高収益化推進助成 **高収益作物：2.0万円/10a×５年間** **子実用とうもろこし：1.0万円/10a** ・都道府県が策定する「水田農業高収益化推進計画」に基づき、高収益作物、子実用とうもろこしを導入する産地を支援。（新規）
④高収益作物等拡大加算（2.0万円/10a） ・地域農業再生協議会ごとにみて、主食用米が30年度以降の最小面積より更に減少し、高収益作物等※の面積が更に拡大した場合に、その面積に応じて産地交付金を配分。 ※高収益作物（園芸作物等）、新市場開拓用米、加工用米、飼料用とうもろこし	**④高収益作物等拡大加算（3.0万円/10a）** ・高収益作物、新市場開拓用米、加工用米等への転換を後押しするため、 基準年：主食用米が減少し、高収益作物等の面積が元年度より拡大 配分時期：拡大計画に基づき、年度当初に配分（10月→４月）。 （拡充）
	⑤麦、大豆等の作付拡大に取り組む産地へ産地交付金をシフト ・転換作物の作付実績を踏まえ、Ｒ２年度の当初配分に反映。（新規）
⑤産地交付金の県枠の設定 ・当初配分の１割以上は、都道府県段階で支援内容を決定し、重点品目の単価を上乗せ。	**⑥産地交付金の県枠の拡大** ・当初配分に占める割合：１割以上→1.5割以上に拡大。（運用見直し）

水田活用の直接支払交付金の支払面積等

- 支払対象者数は34万７千件で、平成29年度の支払実績と比べて７万８千件減少。
- 支払面積は、戦略作物(基幹作物)全体では43万haと、平成29年度と比べて１万６千ha減少。
- 作物別には、
  （ア） 麦は、２千ha減の９万６千ha
  （イ） 大豆は、２千ha減の８万７千ha
  （ウ） 飼料作物は、平成29年度からほぼ横ばいの７万２千ha
  （エ）新規需要米（WCS用稲、米粉用米、飼料用米）は、特に飼料用米が減少したことから、１万２千ha減の12万６千ha
  （オ）加工用米は、昨年度とほぼ横ばいの４万８千ha

（1） 水田活用の直接支払交付金の支払対象者数

	支払対象者数（件）	個人	法人	集落営農
平成30年度	346,933	329,920	11,876	5,137
平成29年度	424,823	407,774	11,443	5,606
対前年度比較	▲ 77,890	▲ 77,854	433	▲ 469

（2） 水田活用の直接支払交付金における戦略作物の支払面積

基幹作物

（単位：ha）

	麦	大豆	飼料作物	新規需要米	WCS用稲	米粉用米	飼料用米	加工用米	合計	（参考） そば	なたね	新市場開拓用米
平成30年度	96,491	86,664	72,195	126,465	42,071	5,243	79,151	48,370	430,184	26,414	781	3,491
平成29年度	98,173	88,638	72,424	138,621	42,340	5,271	91,009	48,684	446,540	26,155	727	―
対前年度比較	▲ 1,683	▲ 1,974	▲ 229	▲ 12,156	▲ 269	▲ 28	▲ 11,859	▲ 314	▲ 16,357	259	54	3,491

- 平成26年度から導入した米粉用米及び飼料用米の数量払い分の対象面積、数量、平均単収については、
  （ア） 米粉用米では、５千２百ha（前年度並）、２万８千トン（７百トン減）
  526kg/10a
  （イ） 飼料用米では、7万8千ha（１万２千ha減）、41万７千トン（７万３千トン減）
  538kg/10a

（3） 米粉用米、飼料用米(数量払い分)の支払面積、支払数量、平均単収

（単位：ha、トン、kg/10a）

	米粉用米			飼料用米		
	面積	数量	単収	面積	数量	単収
平成30年度	5,234	27,540	526	77,512	417,037	538
平成29年度	5,257	28,272	538	89,238	489,687	549
対前年度比較	▲ 23	▲ 732	▲ 12	▲ 11,726	▲ 72,649	▲ 11

注）飼料用米等の数量払いは平成26年度から実施している。
面積は、数量払いで交付した面積であるため、前記戦略作物の支払面積と異なっている。
数量は、農産物検査機関による数量確認を受けた数量、単収は上記「数量」／「面積」により算出。
数量払いの実績には、農産物検査を受けていない取組及び飼料用米を生もみで出荷又は利用する取組の面積及び数量は含まない。

（２）畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）

- 諸外国との生産条件の格差により不利がある国産農産物（麦、大豆等）について、引き続き生産コストと販売額の差に相当する額を直接交付。

畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）

【令和2年度予算額：2,163（1,998）億円（所要額）】

（１）支援内容（数量払）（注：令和２～４年産の交付単価）

① 麦類

品質区分（等級/ランク）	1等				2等			
	A	B	C	D	A	B	C	D
小麦（パン・中華麺用品種：60kg当たり）	8,810円	8,310円	8,160円	8,100円	7,650円	7,150円	7,000円	6,940円
小麦（上記品種以外：60kg当たり）	6,510円	6,010円	5,860円	5,800円	5,350円	4,850円	4,700円	4,640円
二条大麦（50kg当たり）	6,840円	6,420円	6,300円	6,250円	5,980円	5,560円	5,430円	5,380円
六条大麦（50kg当たり）	5,970円	5,550円	5,420円	5,370円	4,940円	4,520円	4,400円	4,350円
はだか麦（60kg当たり）	9,980円	9,480円	9,330円	9,240円	8,410円	7,910円	7,760円	7,680円

等級：被害粒の割合や粒揃いの違いで区分。A～Dランク：たんぱく質の含有率等の違いで区分

② 大豆

品質区分（等級）	1等	2等	3等
普通大豆（60kg当たり）	10,830円	10,140円	9,460円
特定加工用大豆（60kg当たり）	8,780円		

等級：被害粒の割合や粒揃いの違いで区分
特定加工用：豆腐・油揚、しょうゆ、きなこ等製品の段階において、大豆の原形をとどめない用途に使用する大豆

③ そば

品質区分（等級）	1等	2等
45kg当たり	13,800円	11,690円

等級：容積重の違いや被害粒の割合で区分

④ なたね

品質区分（品種）	キザキノナタネ きらきら銀河 キラリボシ ナナシキブ	その他の品種
60kg当たり	8,020円	7,280円

⑤ てん菜

品質区分（糖度）	←（＋0.1度）	16.6度	→（▲0.1度）
1t当たり	＋62円	6,840円	▲62円

糖度：てん菜の重量に対するしょ糖の含有量

⑥ でん粉原料用ばれいしょ

品質区分（でん粉含有率）	←（＋0.1%）	19.7%	→（▲0.1%）
1t当たり	＋64円	13,560円	▲64円

でん粉含有率：ばれいしょの重量に対するでん粉の含有量

（２）支援内容（面積払（営農継続支払））

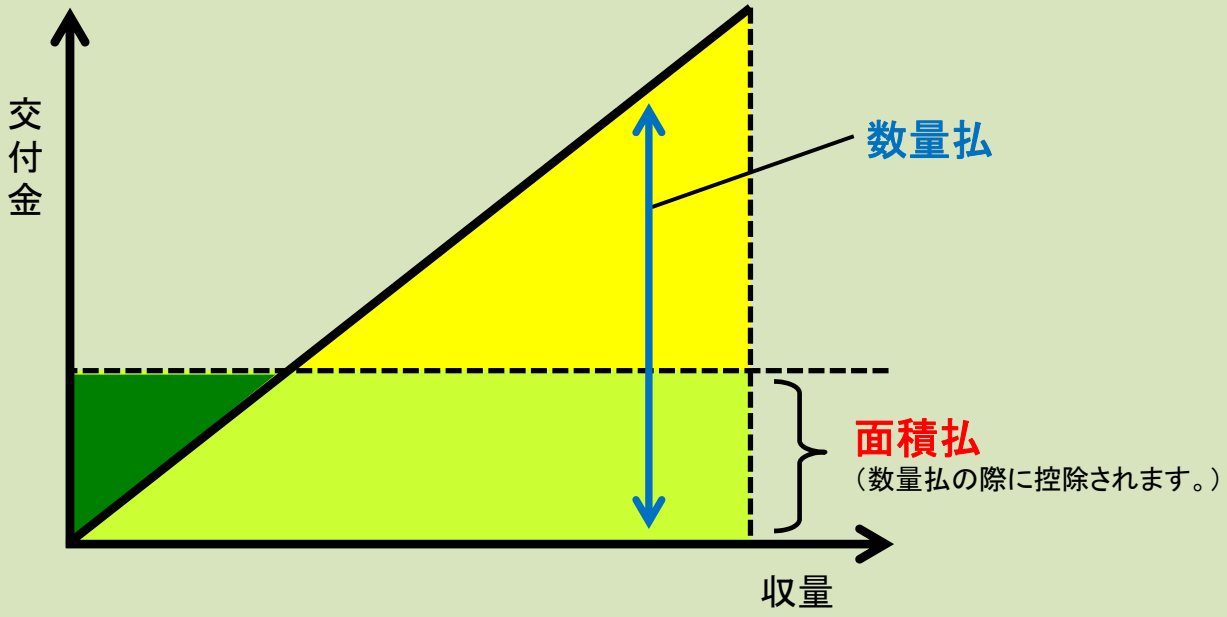
①　交付対象面積

当年産の作付面積に応じて交付

②　交付単価

10a当たり2万円
※「そば」は、10a当たり1万3千円

③　数量払と面積払の関係



交付対象者

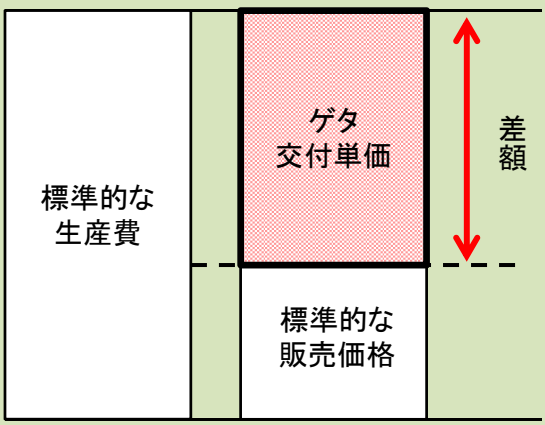
認定農業者、集落営農、
認定新規就農者
（いずれも規模要件は課しません。）

対象作物

麦、大豆、そば、なたね
※ビール用麦、黒大豆、種子用として生産されるものなどは対象外

てん菜、でん粉原料用ばれいしょ
※北海道産のみ

交付単価のイメージ



（３）　米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）

【令和2年度予算額：645（740）億円（所要額）】

- 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金（ナラシ対策）は、農家拠出を伴う経営に着目したセーフティネットであり、米及び畑作物の農業収入全体の減少による影響を緩和するための保険的制度です。

（１）交付対象者

支援の対象となる農業者は、認定農業者、集落営農、認定新規就農者です（いずれも規模要件はありません。）。

※　集落営農の要件は、２要件（組織の規約の作成、対象作物の共同販売経理の実施）に緩和し、「農業経営の法人化」及び「地域における農地利用の集積」については、市町村が確実に行われると判断するものとします。

（２）対象農産物

米、麦、大豆、てん菜、でん粉原料用ばれいしょです。

※１　ビール麦、黒大豆、種子用として生産されるものなどは対象となりません。
※２　てん菜、でん粉原料用ばれいしょは、北海道で生産されるものが対象です。

【10a当たり標準的収入額とは】
通常年に想定される収入額として、前年産以前5か年の収入額のうち、最高年と最低年を除いた3か年の平均収入額で、品目ごと、地域ごとに計算しています。各年産の収入額は、米であれば、地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、地域の実単収を乗じて算出します。

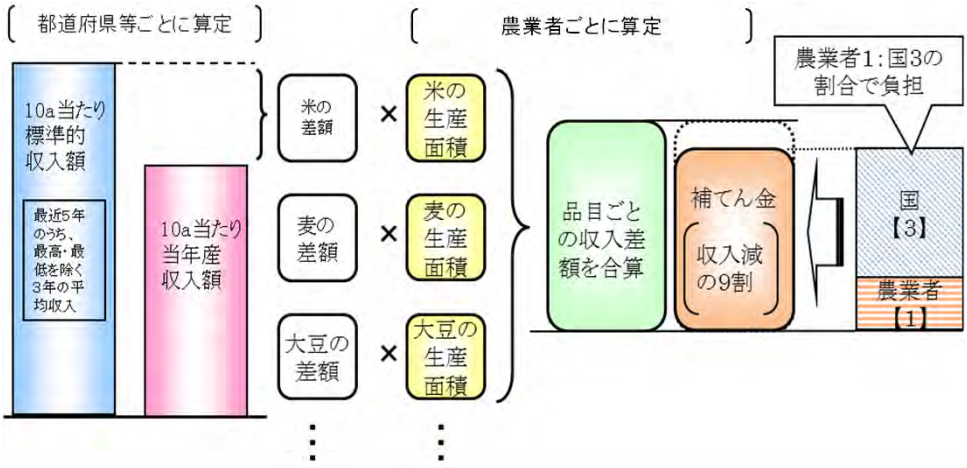
【10a当たり当年産収入額とは】
当年産の収入額として、品目ごと、地域ごとに計算しています。当年産の収入額は、米であれば、当年産の地域の産地品種銘柄のうち、数量の多い上位3銘柄平均販売価格に、当年産の地域の実単収を乗じて算出します。

（３）ナラシ対策の仕組み

○　農業者の米、麦、大豆等の当年産の販売収入の合計（当年産収入額）が、標準的収入額を下回った場合に、その差額の９割を補てんします。

補てん額　＝（標準的収入額－当年産収入額）×０．９

○　補てんの財源は、農業者と国が1対3の割合で負担します。
○　このため、補てんを受けるには、農業者からの積立金の拠出が必要となります。
○　補てん後の積立金の残額は、翌年産へ繰り越されるため、掛け捨てとはなりません。



（４）収入保険との関係

○　農業者は、収入保険かナラシ対策のどちらかを選択して加入することができます。

（参考）平成３０年産ナラシ対策の支払実績（令和元年７月31日現在）

全国・都道府県		加入件数（件）	支払件数（件）	補てん総額（億円）
全国		98,957	19,771	68.92
北海道		18,640	12,418	51.74
東北	青森県	4,472	97	0.68
	岩手県	3,005	41	0.11
	宮城県	3,957	239	1.75
	秋田県	8,075	235	1.34
	山形県	7,362	53	0.28
	福島県	4,561	27	0.12
関東	茨城県	2,736	52	0.07
	栃木県	5,008	125	0.11
	群馬県	893	6	0.00
	埼玉県	1,138	14	0.03
	千葉県	908	5	0.02
	東京都	2	－	－
	神奈川県	108	1	0.00
	山梨県	119	8	0.01
	長野県	1,293	24	0.08
	静岡県	290	－	－
北陸	新潟県	11,781	4,474	5.21
	富山県	1,445	156	0.68
	石川県	1,717	44	0.11
	福井県	1,115	88	0.25
東海	岐阜県	612	95	0.50
	愛知県	550	136	1.21
	三重県	861	94	0.46
近畿	滋賀県	2,096	359	1.41
	京都府	261	10	0.02
	大阪府	37	－	－
	兵庫県	972	184	0.31
	奈良県	79	4	0.00
	和歌山県	50	－	－
中国・四国	鳥取県	303	34	0.06
	島根県	609	11	0.01
	岡山県	701	7	0.03
	広島県	431	4	0.00
	山口県	734	19	0.05
	徳島県	127	1	0.00
	香川県	542	4	0.00
	愛媛県	527	8	0.02
	高知県	178	2	0.01
九州	福岡県	2,024	236	0.81
	佐賀県	1,518	193	0.47
	長崎県	631	14	0.02
	熊本県	3,007	105	0.57
	大分県	1,185	122	0.32
	宮崎県	1,448	9	0.03
	鹿児島県	769	13	0.02
沖縄県		80	－	－

（注１）加入件数は、平成30年７月31日時点（岐阜県、京都府、兵庫県、鳥取県、岡山県、広島県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県及び鹿児島県は10月1日時点）の積立金納付者の件数である。
（注２）支払件数及び補てん総額は、令和元年７月31日時点の数値である。
（注３）ラウンドの関係で合計数値は一致しない場合がある。

（４）収入保険

【令和2年度予算額：211（206）億円】

• 全ての農産物を対象に、**自然災害による収量減少や価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクによる収入減少を補償**します。

【加入できる方】

青色申告を行っている農業者（個人・法人）

※　青色申告（簡易な方式を含む）の実績が１年分あれば加入できます。
※　収入保険と、農業共済、ナラシ対策、野菜価格安定制度などの類似制度は、どちらかを選択して加入します。
※　ゲタ対策につきましては、同時に加入できます。

【対象収入】

農業者が自ら生産した**農産物の販売収入全体**

※　簡易な加工品（精米、もちなど）は含まれます。
※　一部の補助金（畑作物の直接支払交付金等の数量払）は含まれます。
※　肉用牛、肉用子牛、肉豚、鶏卵は、マルキン等の対象なので除きます。

【補てんの仕組み】

○　保険期間の収入が**基準収入の9割**（５年以上の青色申告実績がある場合の補償限度額の上限）**を下回った場合**に、**下回った額の9割を上限に補てん**します。

※　基準収入は、農業者ごとの過去５年間の平均収入（５中５）を基本とし、規模拡大など保険期間の営農計画も考慮して設定します。
※　「掛捨ての保険方式」に「掛捨てとならない積立方式」も組み合わせるかどうかは選択できます。補償限度額は基準収入の９～５割の中から選択できます。
※　保険方式の支払率は９～５割、積立方式の支払率は９～１割の中から選択できます。

○　農業者は、**保険料、積立金等**を支払って加入します。（任意加入）

※　保険料は掛捨てになります。保険料率は、1.08%（50%の国庫補助後）で、自動車保険と同様に、保険金の受取がない方は、保険料率が下がっていきます。
※　積立金には、75%の国庫補助があります。これは自分のお金であり、補てんに使われない限り、翌年に持ち越されます。
※　税務申告上、保険料及び付加保険料（事務費）は、必要経費（個人）又は損金（法人）に計上します。積立金は、預け金として取り扱います。

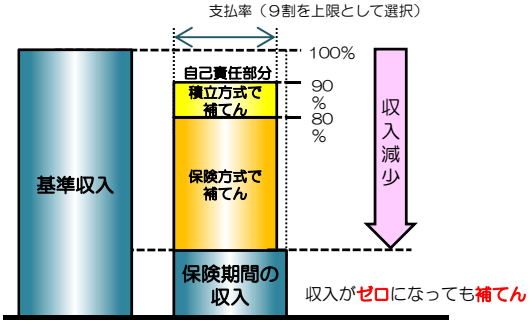
基本のタイプ

○　例えば、**基準収入1,000万円**の方の場合、
保険料7.8万円、積立金22.5万円、
付加保険料（事務費）2.2万円で、
最大810万円の補てんが受けられます。

○　このタイプは、保険期間の
収入がゼロになったときは、
810万円（積立金90万円、保険金720万円）
の補てんが受けられます。

＜基本のタイプの補てん方式＞

（注）５年以上の青色申告実績がある者の場合



基準収入は、過去５年間の平均収入（５中５）を基本に
規模拡大など、保険期間の営農計画も考慮して設定

令和２年１月からは、**補償の下限**を選択することで、**最大約４割安い保険料**で加入することができます。
詳しくは次のページへ！

掛金の安いタイプをご紹介します！

補償の下限は、基準収入の50%、60%、70%から選択できます。

例えば、基準収入の70%を補償の下限として選択した場合

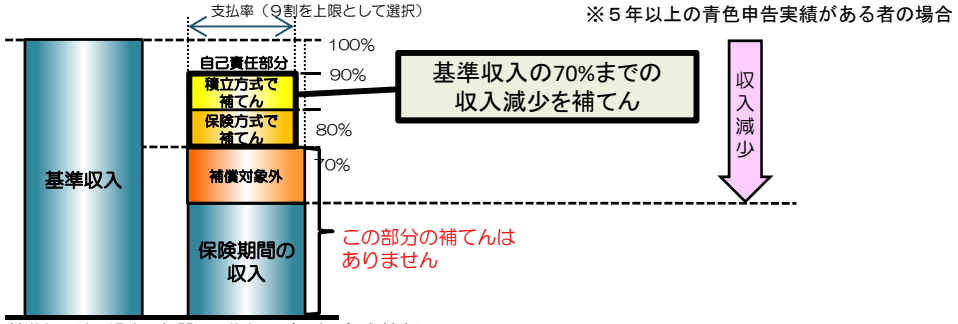
○　これは、保険期間の収入が基準収入の９割を下回ったときに、
基準収入の70%までの額の９割を上限に補てんを受けるタイプです。

○　例えば、**基準収入が1,000万円**の方の場合、
保険料4.4万円、積立金22.5万円、付加保険料1.9万円で、保険期間の収入が700万円になったときは、
最大180万円（積立金90万円、保険金90万円）**の補てん**が受けられます。
ただし、**700万円を下回った分の補てんはありません。**

保険料は、基本のタイプに比べて約４割安くなります。

	保険料	積立金	付加保険料（事務費）	補てん金
基本のタイプ	7.8万円	22.5万円	2.2万円	最大810万円
補償の下限70%	4.4万円	22.5万円	1.9万円	最大180万円

＜基本収入の70%を補償の下限とした場合の補てん方式＞



基準収入は、過去５年間の平均収入（５中５）を基本に規模拡大など、保険期間の営農計画も考慮して設定

＜加入・支払等手続のスケジュール＞

※ 保険期間が令和２年１月～12月の場合のイメージです。
※ 保険期間は税の収入の算定期間と同じです。法人の保険期間は、事業年度の１年間です。事業年度の開始月によって、スケジュールが変わります。

令和元年		令和２年	令和３年
	12月末まで	１月～12月（税の収入の算定期間）	確定申告後（３～６月）
加入申請	保険料・積立金・付加保険料（事務費）の納付	保険期間	保険金・特約補てん金の請求・支払

※ 保険料・積立金は分割支払も可（最終の納付期限は保険期間の８月末）

※ 保険期間中に災害等により資金が必要な場合は、つなぎ融資（無利子）

収入保険について、補償内容、シミュレーション（試算）など詳しいことは、最寄りの**農業共済組合**までお問い合わせください。

【収入保険に関する地域の相談窓口一覧】
http://nosai-zenkokuren.or.jp/consultation.html （全国農業共済組合連合会ホームページ）

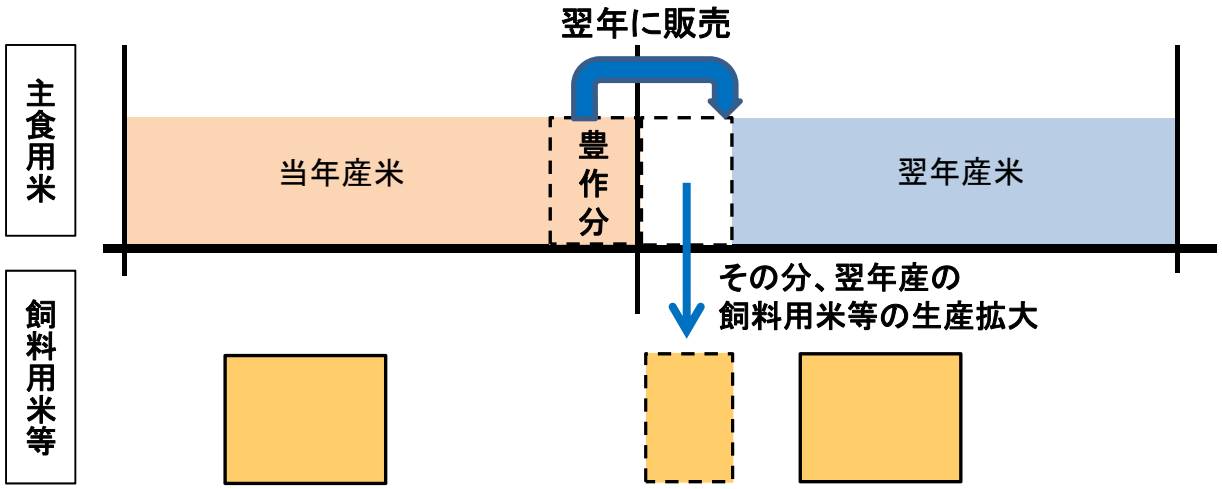
※　収入保険に関する詳しい情報は、全国農業共済組合連合会（ＮＯＳＡＩ全国連）のホームページでご覧になれます。

▶ 収入保険　NOSAI　検索

（５）主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業

①　主食用米の需給安定の考え方

- 「需要に応じた生産を行ってもなお、気象の影響等により、必要な場合」に主食用米を長期計画的に販売する取組や、輸出用など他用途への販売を行う取組等を自主的に実施するための支援措置として、「米穀周年供給・需要拡大支援事業」を実施。（米穀周年供給・需要拡大支援事業：令和2年度予算額50億円（前年度：50億円））
- 必要がある場合に、この支援措置を活用して、豊作分を翌年に回し、その分、水田活用の直接支払交付金を活用して、翌年産の飼料用米等の生産を拡大して、主食用米の供給を絞るといった取組を定着させ、主食用米の需給の安定を図っていくことが重要。
（水田活用の直接支払交付金：令和２年度予算額 3,050億円（前年度：2,961億円））



②　米穀周年供給・需要拡大支援事業のスキーム

＜対策のポイント＞
　生産者、集荷業者・団体の自主的な取組により需要に応じた生産・販売が行われる環境を整備し、産地の判断により、主食用米を長期計画的に販売する取組や輸出用など他用途への販売を行う取組等を実施する体制を構築するため、**民間主導のコメの周年供給・需要拡大等に対する取組を支援。**
＜政策目標＞
　生産者、集荷業者・団体による自主的な経営判断や販売戦略に基づく、需要に応じた米の生産・販売の実現。

＜事業の内容＞

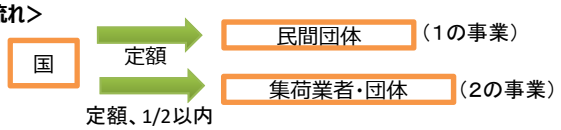
全国事業

１．業務用米等の安定取引拡大支援
　産地と中食・外食事業者等との安定取引を拡大するため、**民間団体が行う業務用米や輸出用米の生産・流通の拡大に向けた展示商談会等を支援**します。

産地

２．周年供給・需要拡大支援
　産地において、あらかじめ生産者等が積立てを行い、以下の取組を実施する場合に支援します（※）。
① 主食用米を**翌年から翌々年以降に長期計画的に販売**する取組（収穫前契約、複数年契約の場合は追加的に支援）
② 主食用米を**輸出向けに販売する際の商品開発、販売促進等**の取組
③ 主食用米を**業務用向け等に販売する際の商品開発、販売促進等**の取組
④ 主食用米を**非主食用へ販売**する取組
　また、米の流通合理化を進めるため、玄米の推奨規格フレコンを活用した**輸送モデル実証**を支援します。

＜事業の流れ＞

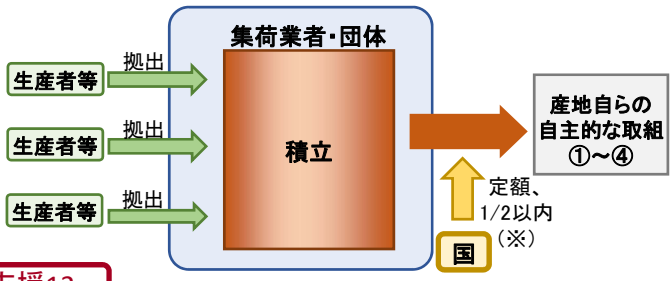


＜事業イメージ＞

１．業務用米等の安定取引拡大支援

〔業務用米取引セミナー〕　〔展示商談会〕　〔輸出用米商談会〕

２．周年供給・需要拡大支援



支援12

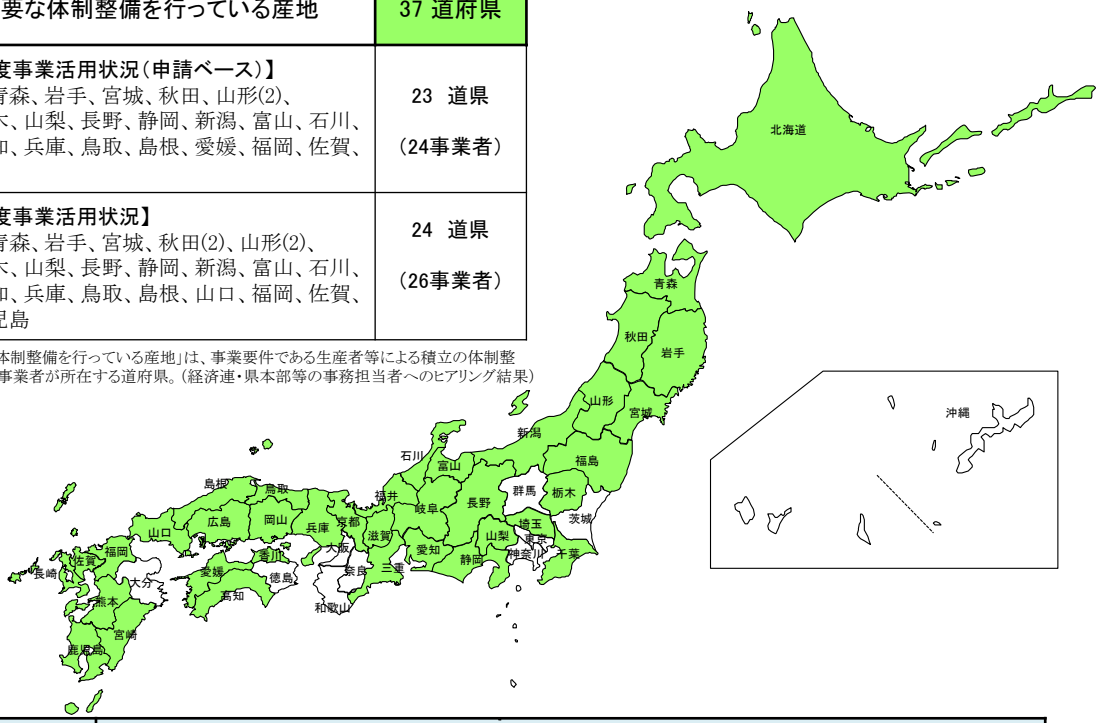
（※）値引きや価格差補てんのための費用は支援の対象外。

③　米穀周年供給・需要拡大支援事業の体制整備状況

- 米穀周年供給・需要拡大支援事業の体制整備は、37道府県の40事業者において行われている状況。
- 令和元年度は23道県（24事業者）が事業を活用（平成30年度は24道県（26事業者）が事業を活用）。
- 出来秋の需給対策として、今後とも本事業を継続･推進。

事業に必要な体制整備を行っている産地	37 道府県
【令和元年度事業活用状況（申請ベース）】 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形(2)、福島、栃木、山梨、長野、静岡、新潟、富山、石川、福井、愛知、兵庫、鳥取、島根、愛媛、福岡、佐賀、鹿児島	23 道県 （24事業者）
【平成30年度事業活用状況】 北海道、青森、岩手、宮城、秋田(2)、山形(2)、福島、栃木、山梨、長野、静岡、新潟、富山、石川、福井、愛知、兵庫、鳥取、島根、山口、福岡、佐賀、長崎、鹿児島	24 道県 （26事業者）

注）「事業に必要な体制整備を行っている産地」は、事業要件である生産者等による積立の体制整備等を行っている事業者が所在する道府県。（経済連・県本部等の事務担当者へのヒアリング結果）



主な産地	これまでの主な取組概要
北海道	【長期計画的販売の取組】 ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 【輸出向けへの販売促進等の取組】 ・ 海外向け北海道米PRパンフレットの作成配布 【業務用向け等への販売促進等の取組】 ・ 各種メディア及びイベントを活用した北海道産米のPR ・ 認知度向上に向けた情報収集、データ分析による販路拡大手法の検討
秋田	【長期計画的な販売の取組】 ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 【業務用向け等への販売促進等の取組】 ・ 各種メディア及びイベントを活用した秋田県産米のPR ・ 食味分析データを用いた販売促進パンフレットの作成配布 ・ 外食事業者等が参加する各種商談会での試食等の実施
山形	【輸出向けへの販売促進等の取組】 ・ 海外百貨店等での「つや姫」、「はえぬき」PRキャンペーンの開催 【業務用向け等への販売促進等の取組】 ・ 各種メディア及びイベントを活用した山形県産米のPR ・ 販路拡大に向けたコンサルティング活動
新潟	【長期計画的な販売の取組】 ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 【業務用向け等への販売促進等の取組】 ・ 各種メディア及びイベントを活用した新潟県産米のPR ・ JRエキナカ店舗との連携による販売促進活動の実施 ・ インターネット調査による新潟県産米の認知度・消費者ニーズ等の把握
石川	【長期計画的販売の取組】 ・ 需要者と連携した生産年の翌年11月以降の長期計画的な販売 【輸出向けへの販売促進等の取組】 ・ 現地市場等調査による実需者ニーズの把握や石川県産米パンフレットの作成配布 【業務用向け等への販売促進等の取組】 ・ 各種メディア及びイベントを活用した石川県産米のPR ・ 毎月２日を「おにぎりの日」に制定し、これを起点にした試食イベント等の開催

（６）コメ海外市場拡大戦略プロジェクト（平成29年

URL同時アップ

我が国のコメの消費量が毎年約10万トン減少していく中で、食料自給率・食料自給力の向上や米農家の所得向上を図っていくためには、海外市場に積極的に進出し、輸出を拡大していくことが喫緊の課題。
→ このため、平成29年９月に「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」を立ち上げ、コメの輸出量を飛躍的に拡大するため、戦略的に輸出に取り組む関係者を特定し、それらが連携した個別具体的な取組を強力に後押しする。

（１）戦略的輸出事業者

令和元年に向けた飛躍的な輸出目標を掲げ、コメ輸出の戦略的な拡大に取り組む輸出事業者を「戦略的輸出事業者」として特定。

「戦略的輸出事業者」と連携して、輸出用米の安定的な生産に取り組む「戦略的輸出基地」づくりを推進

産地と事業者の結びつきの強化・拡大

「戦略的輸出事業者」等と連携したプロモーション等により、輸出先国における日本産米の需要を拡大

連携したプロモーション等の実施

（２）戦略的輸出基地（産地）

輸出産地としての取組方針を掲げ、輸出用米の安定的な生産に取り組む産地（法人・団体）を「戦略的輸出基地」として特定。

コメ輸出の飛躍的拡大

目標：10万トン(※)

（３）戦略的輸出ターゲット国

「戦略的輸出事業者」が輸出を拡大する国を中心に、重点的にプロモーション等を行う「戦略的輸出ターゲット国」を特定。

→ 中国、香港、シンガポール、米国、ＥＵ等

（※）米菓・日本酒等の原料米換算分を含む。

「コメ海外市場拡大戦略プロジェクト」の参加状況について

○　本プロジェクトの参加状況

令和２年３月３１日時点の戦略的輸出事業者及び戦略的輸出基地の参加状況は以下のとおりとなっています。

(ア)戦略的輸出事業者　　７１事業者（目標数量合計 １４万トン※）

(イ)戦略的輸出基地

(1)団体・法人　　２５０産地

(2)都道府県単位の集荷団体等　　２１団体

((1)以外の産地も含めた取組を推進する都道府県単位の団体等）

(3)全国単位の集荷団体等　　１団体

((1)、(2)以外の産地も含めた取組を推進する全国単位の団体等）

(ウ)戦略的輸出ターゲット国

戦略的輸出事業者から提出された「重点的に輸出を拡大する国・地域」は以下のとおり。

中国、台湾、香港、マカオ、シンガポール、タイ、ベトナム、マレーシア、モンゴル、米国、カナダ、EU、スイス、オーストラリア、ロシア、中東、インド

※輸出事業者の目標の積み上げにより、重複して計上される場合があります。

○　今後の取組方針

海外市場における日本産米の需要をより一層喚起し、輸出拡大に繋げるため、令和元年度補正予算に盛り込まれた輸出促進予算等を活用して戦略的輸出事業者による海外市場開拓を強力に推進します。

また、海外需要に応じた輸出用米の生産拡大を進めるため、戦略的輸出事業者と戦略的輸出基地の結びつけ・マッチングを進めるとともに、各県・地域が水田フル活用ビジョンの検討を進める中で、戦略的輸出事業者と戦略的輸出基地との間で輸出用米の具体的な生産数量や品種等の調整が進むよう、関係者が一体となって輸出用米生産の取組を推進します。

なお、引き続き、本プロジェクトに参加する輸出事業者及び産地の団体・法人を募集します。本プロジェクトへの参加を希望する輸出事業者及び産地の団体・法人は、下記URLの様式に必要事項を記載の上、以下の宛先に郵送、FAX又は電子メールにて提出してください。

「コメ輸出拡大プラン（輸出事業者用）」の提出先

〒100-8950
東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省政策統括官付
農産企画課米穀輸出企画班 島本、斎藤、鈴木
E-mail:kome_yusyutu@maff.go.jp
TEL:03-6738-8964、FAX:03-6738-6069

「コメ輸出産地取組方針（産地の団体・法人用）」の提出先

〒100-8950
東京都千代田区霞が関1-2-1
農林水産省政策統括官付
穀物課　美保、武内、桒原
E-mail:kome_santi@maff.go.jp
TEL:03-6744-2108、FAX:03-6744-2523

農林水産省ホームページで「米の輸出について」のページを開設しました！「米の輸出について」のページには、本プロジェクトの情報やコメ輸出に関する様々な情報を掲載しています。
また同ページには、コメの輸出について分かりやすく説明した動画を公開しています。
「農林水産省ホームページ」トップページの「キーワード」にある「米の輸出」からご覧頂けます！

（農新水産省ホームページ「米の輸出について」URL）
http://www.maff.go.jp/j/syouan/keikaku/soukatu/kome_yusyutu/kome_yusyutu.html

Ⅴ　その他

（１）水稲うるち玄米の農産物検査結果

- 令和元年産水稲うるち玄米の令和元年１２月３１日現在の検査数量は、４１２万トン。
- １等米比率は、73.1%。

①　検査数量の推移（累計）

単位：千ﾄﾝ

年産別	当年						翌年			
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月
26	12	229	1,789	3,785	4,276	4,470	4,595	4,720	4,880	5,275
27	11	220	1,537	3,506	3,964	4,149	4,252	4,385	4,518	4,869
28	18	231	1,656	3,564	4,036	4,212	4,319	4,451	4,585	4,929
29	13	244	1,463	3,268	3,851	4,062	4,163	4,279	4,409	4,764
30	21	297	1,446	3,328	3,782	3,962	4,075	4,199	4,325	4,656
参考：前年比	159%	122%	99%	102%	98%	98%	98%	98%	98%	98%
元		193	1,651	3,448	3,929	4,118				
参考：前年比		65%	114%	104%	104%	104%				

注：１　各月末時点の検査数量である。
　　２　生産年の７月から翌年３月までは速報値、翌年10月は確定値である。
　　３「農林水産大臣の定める様式及び農林水産大臣の定める期日」の告示に基づく報告を集計（公表）したものである。

②　検査数量及び等級比率（年産別）

単位：トン、％

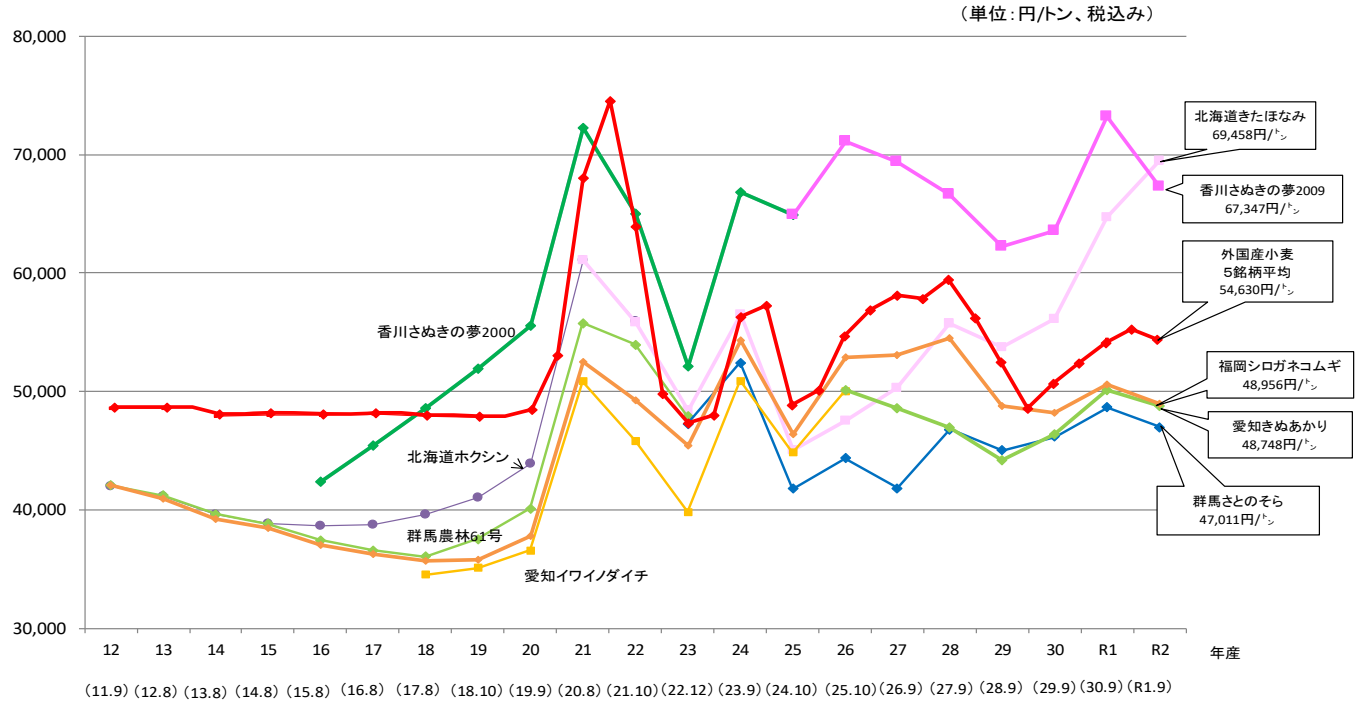
年産別	検査数量	等級別数量				等級比率			
		１等	２等	３等	規格外	１等	２等	３等	規格外
20	5,093,440	4,073,571	849,087	76,542	94,240	80.0	16.7	1.5	1.9
21	4,818,603	4,102,807	582,137	48,396	85,263	85.1	12.1	1.0	1.8
22	4,859,642	3,013,076	1,570,194	152,813	123,559	62.0	32.3	3.1	2.5
23	4,753,193	3,840,127	759,339	60,000	93,727	80.8	16.0	1.3	2.0
24	5,041,489	3,953,978	910,522	82,760	94,229	78.4	18.1	1.6	1.9
25	5,205,717	4,112,147	905,866	96,289	91,415	79.0	17.4	1.8	1.8
26	5,274,634	4,291,267	806,063	70,348	106,956	81.4	15.3	1.3	2.0
27	4,868,582	4,016,682	687,771	82,654	81,475	82.5	14.1	1.7	1.7
28	4,928,745	4,110,565	668,746	67,438	81,995	83.4	13.6	1.4	1.7
29	4,763,550	3,919,530	676,990	74,247	92,784	82.3	14.2	1.6	1.9
30	4,655,749	3,737,664	732,043	84,232	101,811	80.3	15.7	1.8	2.2
元(注3)	4,117,525	3,010,119	921,117	126,469	59,820	73.1	22.4	3.1	1.5

資料：　農林水産省とりまとめ
注：１　等級比率は、１等であれば農産物検査法に基づく検査の結果、１等に格付けされた割合である。
　　２　30年産米までは、生産年の翌年10月31日現在（確定値）。
　　３　元年産米については、令和元年12月31日現在（速報値）。

（２）　麦・大豆の需要情報

①　令和２年産麦の産地別銘柄別入札結果

令和２年産国内産麦の入札の結果、取引の基準となる指標価格（加重平均）（税込）は、麦種別平均で、小麦６５，０７３円/トン、小粒（六条）大麦46，６７０円/トン、大粒（二条）大麦４０，６４７円/トン、はだか麦４６，５３２円/トン。



(11.9)(12.8)(13.8)(14.8)(15.8)(16.8)(17.8)(18.10)(19.9)(20.8)(21.10)(22.12)(23.9)(24.10)(25.10)(26.9)(27.9)(28.9)(29.9)(30.9)(R1.9)

注１：国内産小麦の価格は、播種前入札第1回、第2回及び再入札の全銘柄落札加重平均価格（税込み）。年産の下段の(　)内は国内産麦の播種前入札実施年月である。
注２：外国産小麦の価格は、18年までは年度平均の実績価格であり、19年以降は、国内産麦の入札実施年月時点の輸入小麦の政府売渡価格（5銘柄平均）である。
注３：ホクシン（きたほなみ）については、22年産までは「ホクシン」の価格であり、23年産からは「きたほなみ」の価格である。
注４：さぬきの夢については、24年産までは「さぬきの夢2000」の価格であり、25年産からは「さぬきの夢2009」の価格である。
注５：農林61号（さとのそら）については、23年産までは「農林61号」の価格であり、24年産からは「さとのそら」の価格である。
注６：R1年産から国内産小麦の税込み価格は農林水産省で算出。

ア　令和２年産小麦

（単位：円、トン、税抜き）

麦種	産地	銘　柄	地域区分	前年産指標価格 (1)	税別 基準価格 (2)	税別 指標価格 (3)	税別 対比 (3)÷(2)	指標価格前年産対比 (3)÷(1)	上場数量 (4)	申込数量 (5)	落札数量	落札残数量	申込数量 (5)÷(4)
小　麦	北海道	春よ恋	全地区	63,696	64,970	71,467	110.0 %	112.2 %	10,520	41,820	10,520	0	4.0
小　麦	北海道	きたほなみ	全地区	59,956	61,155	64,313	105.2 %	107.3 %	125,250	164,590	124,590	660	1.3
小　麦	北海道	ゆめちから	全地区	58,127	59,290	65,219	110.0 %	112.2 %	17,040	32,270	17,040	0	1.9
小　麦	北海道	はるきらり	全地区	55,742	56,857	62,542	110.0 %	112.2 %	1,400	3,240	1,400	0	2.3
小　麦	岩　手	ゆきちから	全地区	36,971	37,710	39,414	104.5 %	106.6 %	1,320	1,480	1,260	60	1.1
小　麦	宮　城	シラネコムギ	全地区	41,303	42,129	44,586	105.8 %	107.9 %	510	360	360	150	0.7
小　麦	茨　城	さとのそら	全地区	42,880	43,738	43,512	99.5 %	101.5 %	3,650	4,530	3,650	0	1.2
小　麦	群　馬	つるぴかり	全地区	46,097	47,019	48,975	104.2 %	106.2 %	1,200	1,720	1,200	0	1.4
小　麦	群　馬	さとのそら	全地区	45,064	45,965	43,529	94.7 %	96.6 %	4,690	5,250	4,610	80	1.1
小　麦	埼　玉	あやひかり	全地区	42,659	43,512	42,677	98.1 %	100.0 %	1,410	1,370	1,300	110	1.0
小　麦	埼　玉	さとのそら	全地区	43,666	44,539	42,378	95.1 %	97.1 %	4,370	3,910	3,750	620	0.9
小　麦	岐　阜	イワイノダイチ	全地区	43,402	44,270	43,017	97.2 %	99.1 %	1,260	1,340	1,180	80	1.1
小　麦	岐　阜	さとのそら	全地区	42,518	43,368	44,012	101.5 %	103.5 %	1,150	2,350	1,150	0	2.0
小　麦	愛　知	きぬあかり	全地区	46,402	47,330	45,137	95.4 %	97.3 %	5,700	5,500	5,240	460	1.0
小　麦	滋　賀	農林61号	全地区	47,003	47,943	48,918	102.0 %	104.1 %	2,720	4,460	2,720	0	1.6
小　麦	滋　賀	ふくさやか	全地区	45,865	46,782	43,739	93.5 %	95.4 %	1,070	1,240	1,070	0	1.2
小　麦	香　川	さぬきの夢2009	全地区	67,765	69,120	62,358	90.2 %	92.0 %	1,690	350	350	1,340	0.2
小　麦	福　岡	シロガネコムギ	全地区	46,892	47,830	45,330	94.8 %	96.7 %	5,070	5,290	4,690	380	1.0
小　麦	福　岡	チクゴイズミ	全地区	48,336	49,303	47,297	95.9 %	97.9 %	4,810	4,260	4,260	550	0.9
小　麦	福　岡	ミナミノカオリ	全地区	63,327	64,594	55,511	85.9 %	87.7 %	1,630	8,250	1,630	0	5.1
小　麦	佐　賀	シロガネコムギ	全地区	44,443	45,332	43,454	95.9 %	97.8 %	5,770	10,470	5,770	0	1.8
小　麦	佐　賀	チクゴイズミ	全地区	48,327	49,294	45,768	92.8 %	94.7 %	3,580	1,900	1,900	1,680	0.5
小　麦	大　分	チクゴイズミ	全地区	44,690	45,584	42,680	93.6 %	95.5 %	1,200	910	840	360	0.8
－	－	－－－合　計－－－	－	－	57,835	60,253	104.2 %	－	207,010	306,860	200,480	6,530	1.5

資料：（一社）全国米麦改良協会「令和2年産民間流通麦の入札における落札決定状況（公表）」
注：１　基準価格及び指標価格は円/1ﾄﾝ当たりの価格である。
　　２　建値条件は、ばら、1等、産地倉庫在姿である。
　　３　基準価格及び指標価格の「合計」欄は、産地・銘柄毎の基準価格又は指標価格を落札数量で加重平均したものである。
　　４　令和2年産小麦の基準価格は、令和元年産の指標価格に当該年産の第1回入札時点での輸入麦の政府売渡価格の変動率(1.020)を乗じた価格である。

イ　令和２年産大麦・はだか麦

（単位：円、トン、税抜き）

麦種	産地	銘　柄	地域区分	前年産指標価格 (1)	税別 基準価格 (2)	税別 指標価格 (3)	税別 対比 (3)÷(2)	指標価格前年産対比 (3)÷(1)	上場数量 (4)	申込数量 (5)	落札数量	落札残数量	申込数量 (5)÷(4)
小粒(六条)大麦	宮　城	シュンライ	全地区	35,856	35,856	35,752	99.7 %	99.7 %	380	370	310	70	1.0
小粒(六条)大麦	宮　城	ミノリムギ	全地区	36,452	36,452	36,411	99.9 %	99.9 %	180	180	160	20	1.0
小粒(六条)大麦	茨　城	カシマムギ	全地区	44,259	44,259	45,268	102.3 %	102.3 %	230	300	230	0	1.3
小粒(六条)大麦	茨　城	カシマゴール	全地区	39,490	39,490	39,490	100.0 %	100.0 %	920	920	920	0	1.0
小粒(六条)大麦	栃　木	シュンライ	全地区	38,114	38,114	38,217	100.3 %	100.3 %	1,210	1,710	1,210	0	1.4
小粒(六条)大麦	群　馬	シュンライ	全地区	38,255	38,255	38,116	99.6 %	99.6 %	440	620	440	0	1.4
小粒(六条)大麦	富　山	ファイバースノウ	全地区	46,116	46,116	46,116	100.0 %	100.0 %	2,470	3,240	2,470	0	1.3
小粒(六条)大麦	石　川	ファイバースノウ	Ⅰ地区	43,666	43,666	43,666	100.0 %	100.0 %	770	1,020	770	0	1.3
小粒(六条)大麦	福　井	ファイバースノウ	全地区	46,478	46,478	46,483	100.0 %	100.0 %	2,680	3,750	2,680	0	1.4
小粒(六条)大麦	福　井	はねうまもち	全地区	47,287	47,287	49,464	104.6 %	104.6 %	620	1,740	620	0	2.8
小粒(六条)大麦	長　野	ファイバースノウ	全地区	39,016	39,016	39,016	100.0 %	100.0 %	300	540	300	0	1.8
小粒(六条)大麦	滋　賀	ファイバースノウ	Ⅱ地区	38,363	38,363	38,363	100.0 %	100.0 %	690	760	690	0	1.1
小粒(六条)大麦	兵　庫	シュンライ	全地区	41,506	41,506	39,430	95.0 %	95.0 %	240	240	240	0	1.0
－	－	－－－合　計－－－	－	－	43,112	43,213	100.2 %	－	11,130	15,390	11,040	90	1.4
大粒(二条)大麦	茨　城	ミカモゴールデン	全地区	28,070	28,070	28,432	101.3 %	101.3 %	840	1,510	750	90	1.8
大粒(二条)大麦	栃　木	ニューサチホゴールデン	全地区	32,234	32,234	32,291	100.2 %	100.2 %	850	1,340	850	0	1.6
大粒(二条)大麦	岡　山	スカイゴールデン	全地区	45,156	45,156	40,641	90.0 %	90.0 %	860	590	580	280	0.7
大粒(二条)大麦	佐　賀	サチホゴールデン	全地区	47,819	47,819	43,067	90.1 %	90.1 %	4,080	1,470	1,470	2,610	0.4
大粒(二条)大麦	佐　賀	はるか二条	全地区	48,641	48,641	43,777	90.0 %	90.0 %	3,440	280	280	3,160	0.1
－	－	－－－合　計－－－	－	－	40,345	37,636	93.3 %	－	10,070	5,190	3,930	6,140	0.5
はだか麦	香　川	イチバンボシ	全地区	47,584	47,584	43,293	91.0 %	91.0 %	630	760	630	0	1.2
はだか麦	愛　媛	ハルヒメボシ	全地区	46,869	46,869	42,952	91.6 %	91.6 %	1,020	980	980	40	1.0
はだか麦	大　分	トヨノカゼ	全地区	44,630	44,630	43,084	96.5 %	96.5 %	490	370	370	120	0.8
－	－	－－－合　計－－－	－	－	46,678	43,085	92.3 %	－	2,140	2,110	1,980	160	1.0

資料：（一社）全国米麦改良協会「令和2年産民間流通麦の入札における落札決定状況（公表）」

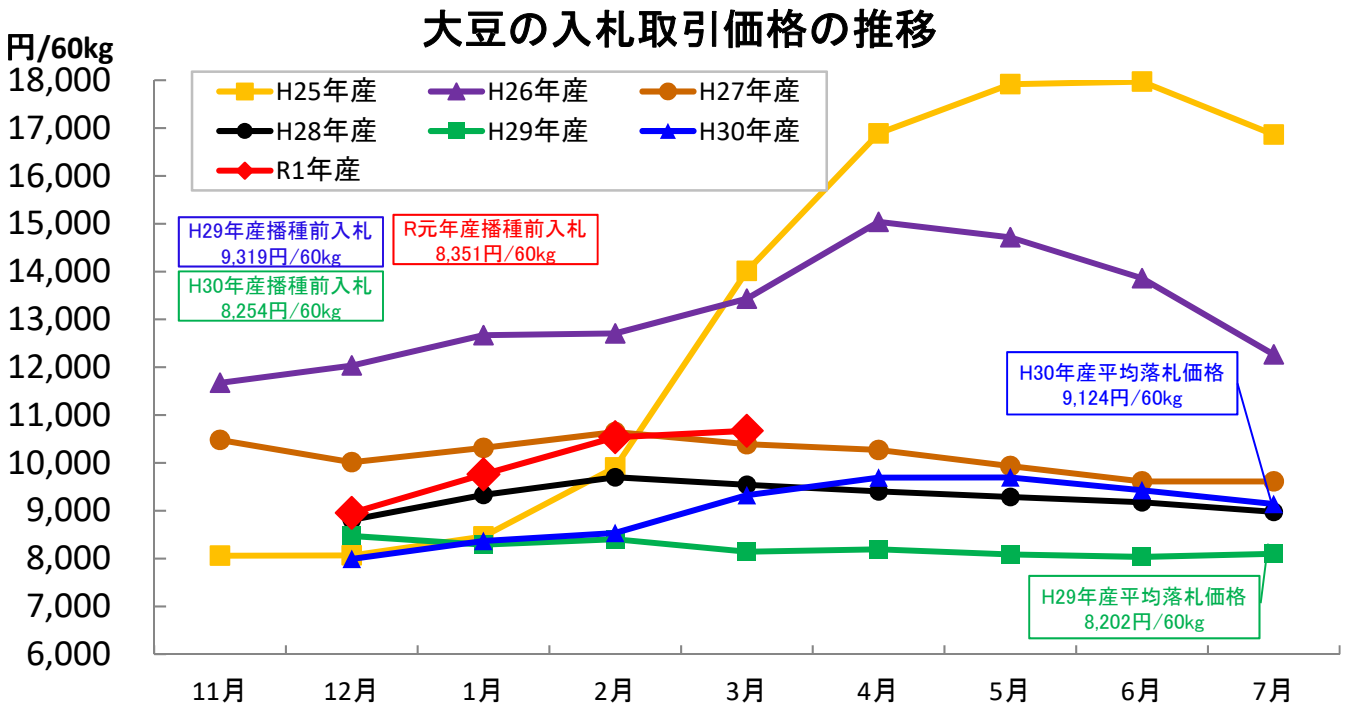
注：１　基準価格及び指標価格は円/1ﾄﾝ当たりの価格である。

２　建値条件は、ばら、1等、産地倉庫在姿である。

３　基準価格及び指標価格の「合計」欄は、産地・銘柄毎の基準価格又は指標価格を落札数量で加重平均したものである。

②　令和元年産大豆の産地品種銘柄別入札結果

- 令和元年産大豆の収穫量は、前年産から1,000トン増加し21万2,300トンとなった。
- （公財）日本特産農産物協会が開設する令和元年産大豆の収穫後入札取引は、昨年12月から開始。第４回目の入札では、5,380ｔが上場され、落札率は86.7%、平均落札価格は10,671円/60kgとなった。（平成30年産大豆では34,332ｔが上場され、22,920ｔが落札（落札率67%）。平均落札価格は8,202円/60kgとなった。）



資料：(公財)日本特産農産物協会入札結果より。　注：入札販売価格は各月の全銘柄平均価格(税抜)

令和元年産大豆の収穫後入札結果（産地品種銘柄別、年産累計）

（北海道～岩手県）　　（単位：俵、円/60kg(税抜き)）

産地	粒別	品種銘柄	上場数量			落札数量			落札率	落札価格		
			普通大豆	特定加工用大豆	合計	普通大豆	特定加工用大豆	合計		普通大豆	特定加工用大豆	合計
北海道	大粒	音更大袖振	1,155.0		1,155.0	495.0		495.0	43%	10,497		10,497
	中粒	音更大袖振		330.0	330.0							
	大粒	とよまさり	77,819.0	8,775.0	86,594.0	74,846.0	8,280.0	83,126.0	96%	10,431	8,857	10,274
	大粒	[とよまさりトヨコマチ]	330.0	330.0	660.0	165.0	165.0	330.0	50%	8,220	8,440	8,330
	大粒	[とよまさりユキホマレ]	59,000.0	7,455.0	66,455.0	56,690.0	7,125.0	63,815.0	96%	10,499	8,905	10,321
	大粒	[とよまさりとよみづき]	18,489.0	990.0	19,479.0	17,991.0	990.0	18,981.0	97%	10,237	8,578	10,151
	中粒	とよまさり	4,785.0	2,805.0	7,590.0	4,620.0	2,805.0	7,425.0	98%	9,000	8,206	8,700
	中粒	[とよまさりユキホマレ]	3,795.0	2,640.0	6,435.0	3,630.0	2,640.0	6,270.0	97%	8,969	8,171	8,633
	中粒	[とよまさりとよみづき]	990.0	165.0	1,155.0	990.0	165.0	1,155.0	100%	9,115	8,770	9,066
	小粒	とよまさり		1,320.0	1,320.0		1,320.0	1,320.0	100%		7,208	7,208
	小粒	[とよまさりユキホマレ]		1,320.0	1,320.0		1,320.0	1,320.0	100%		7,208	7,208
	中粒	ハヤヒカリ	1,980.0		1,980.0	1,155.0		1,155.0	58%	8,139		8,139
	小粒	スズマル	3,300.0	165.0	3,465.0	2,640.0		2,640.0	76%	11,386		11,386
	極小粒	スズマル	825.0	495.0	1,320.0	825.0	330.0	1,155.0	88%	11,366	10,505	11,120
	小粒	ユキシズカ	20,516.0	2,310.0	22,826.0	10,395.0	165.0	10,560.0	46%	9,457	8,910	9,449
	極小粒	ユキシズカ	1,485.0	165.0	1,650.0	1,485.0	165.0	1,650.0	100%	10,662	10,000	10,596
		その他	660.0		660.0	165.0		165.0	25%	10,500		10,500
	(小粒)	スズマル(小粒)	495.0		495.0	165.0		165.0	33%	10,500		10,500
	(小粒)	ユキシズカ(小粒)	165.0		165.0							
青森	大粒	おおすず	9,735.0	2,310.0	12,045.0	9,570.0	1,980.0	11,550.0	96%	9,951	8,412	9,687
	中粒	おおすず	330.0	660.0	990.0	330.0	330.0	660.0	67%	8,710	7,850	8,280
岩手	大粒	リュウホウ	3,795.0	660.0	4,455.0	3,795.0	660.0	4,455.0	100%	9,273	8,685	9,186
	中粒	リュウホウ	660.0	165.0	825.0	660.0	165.0	825.0	100%	8,623	8,440	8,586
	大粒	シュウリュウ	495.0	165.0	660.0	495.0		495.0	75%	9,310		9,310

注１：北海道の「とよまさり」については、「粒別・とよまさり」の下欄に品種群「とよまさり」を構成する品種を［　］内に示し、その実績を内数として示している。

注２：落札率については、普通大豆、特定加工用大豆を含む。

大粒	とよまさり
大粒	［とよまさり］
大粒	［とよまさりトヨムスメ］

（宮城県以南）

（単位：俵、円/60kg（税抜き））

産地	粒別	品種銘柄	上場数量			落札数量			落札率	落札価格		
			普通大豆	特定加工用大豆	合計	普通大豆	特定加工用大豆	合計		普通大豆	特定加工用大豆	合計
宮城	大粒	ミヤギシロメ	660.0	990.0	1,650.0	660.0	990.0	1,650.0	100%	10,945	9,623	10,152
	大粒	［ミヤギシロメ］	660.0	990.0	1,650.0	660.0	990.0	1,650.0	100%	10,945	9,623	10,152
	中粒	ミヤギシロメ	2,640.0	1,815.0	4,455.0	2,640.0	1,815.0	4,455.0	100%	9,759	9,009	9,454
	中粒	［ミヤギシロメ］	495.0	330.0	825.0	495.0	330.0	825.0	100%	8,740	8,150	8,504
	中粒	［ミヤギシロメ大］	2,145.0	1,485.0	3,630.0	2,145.0	1,485.0	3,630.0	100%	9,995	9,200	9,670
	大粒	タンレイ	2,640.0	825.0	3,465.0	2,640.0	825.0	3,465.0	100%	9,604	9,030	9,468
	中粒	タンレイ	990.0	660.0	1,650.0	990.0	660.0	1,650.0	100%	8,465	8,380	8,431
	大粒	タチナガハ	4,290.0	825.0	5,115.0	4,290.0	825.0	5,115.0	100%	9,750	8,938	9,619
	中粒	タチナガハ	330.0		330.0							
秋田	大粒	リュウホウ	8,415.0	2,970.0	11,385.0	8,415.0	2,970.0	11,385.0	100%	9,624	9,004	9,462
	中粒	リュウホウ	6,765.0	2,640.0	9,405.0	6,270.0	2,310.0	8,580.0	91%	9,085	8,600	8,955
山形	大粒	里のほほえみ	4,455.0	990.0	5,445.0	4,455.0	990.0	5,445.0	100%	9,864	9,545	9,806
	中粒	里のほほえみ	165.0	495.0	660.0	165.0	495.0	660.0	100%	8,720	8,783	8,768
	大粒	リュウホウ	990.0		990.0	990.0		990.0	100%	9,085		9,085
	中粒	リュウホウ	1,320.0		1,320.0	1,320.0		1,320.0	100%	8,531		8,531
	大粒	エンレイ	2,145.0	165.0	2,310.0	2,145.0	165.0	2,310.0	100%	10,718	9,560	10,635
	中粒	エンレイ	1,155.0	330.0	1,485.0	1,155.0	330.0	1,485.0	100%	9,134	8,555	9,006
茨城	大粒	里のほほえみ	3,006.5	347.5	3,354.0	3,006.5	347.5	3,354.0	100%	9,248	9,021	9,224
	中粒	里のほほえみ	305.0	165.0	470.0	140.0	165.0	305.0	65%	9,210	9,050	9,123
栃木	大粒	里のほほえみ	3,275.0	685.0	3,960.0	3,275.0	685.0	3,960.0	100%	9,523	9,046	9,441
	中粒	里のほほえみ		495.0	495.0		495.0	495.0	100%		8,387	8,387
新潟	大粒	里のほほえみ	3,465.0	3,300.0	6,765.0	3,465.0	3,300.0	6,765.0	100%	9,781	9,634	9,709
	中粒	里のほほえみ	495.0	1,485.0	1,980.0	495.0	1,485.0	1,980.0	100%	8,537	9,257	9,077
	大粒	エンレイ	1,485.0	1,320.0	2,805.0	1,485.0	1,320.0	2,805.0	100%	11,157	10,948	11,058
	中粒	エンレイ	1,320.0	825.0	2,145.0	1,155.0	495.0	1,650.0	77%	10,451	9,373	10,128
富山	大粒	エンレイ		4,455.0	4,455.0		4,455.0	4,455.0	100%		11,580	11,580
	中粒	エンレイ		6,281.0	6,281.0		6,281.0	6,281.0	100%		10,510	10,510
	小粒	エンレイ		1,650.0	1,650.0		1,650.0	1,650.0	100%		8,397	8,397
	大粒	シュウレイ		1,815.0	1,815.0		1,815.0	1,815.0	100%		9,345	9,345
	中粒	シュウレイ		660.0	660.0		660.0	660.0	100%		9,515	9,515
石川	大粒	里のほほえみ	165.0	2,475.0	2,640.0	165.0	2,475.0	2,640.0	100%	11,180	9,480	9,586
	中粒	里のほほえみ		165.0	165.0		165.0	165.0	100%		10,470	10,470
	中粒	エンレイ		165.0	165.0		165.0	165.0	100%		9,030	9,030
長野	大粒	ナカセンナリ	165.0		165.0	165.0		165.0	100%	12,070		12,070
	中粒	ナカセンナリ	495.0	165.0	660.0	495.0	165.0	660.0	100%	10,780	9,010	10,338
岐阜	大粒	フクユタカ	825.0		825.0	825.0		825.0	100%	13,864		13,864
	中粒	フクユタカ	495.0		495.0	495.0		495.0	100%	12,607		12,607
	小粒	フクユタカ	1,485.0		1,485.0	1,485.0		1,485.0	100%	11,043		11,043
愛知	大粒	フクユタカ	825.0	330.0	1,155.0	825.0	330.0	1,155.0	100%	13,916	14,130	13,977
	中粒	フクユタカ	495.0	1,155.0	1,650.0	495.0	1,155.0	1,650.0	100%	13,320	12,341	12,635
	小粒	フクユタカ		1,320.0	1,320.0		1,320.0	1,320.0	100%		9,854	9,854
三重	大粒	フクユタカ	495.0		495.0	495.0		495.0	100%	14,180		14,180
	中粒	フクユタカ	990.0	165.0	1,155.0	990.0	165.0	1,155.0	100%	12,832	10,200	12,456
	小粒	フクユタカ	165.0	495.0	660.0	165.0	495.0	660.0	100%	11,860	10,273	10,670
滋賀	中粒	オオツル	165.0	330.0	495.0	165.0	330.0	495.0	100%	9,360	9,730	9,607
	大粒	ことゆたか	1,320.0		1,320.0	1,320.0		1,320.0	100%	11,335		11,335
	中粒	ことゆたか	330.0	330.0	660.0	330.0	330.0	660.0	100%	10,910	11,010	10,960
	小粒	ことゆたか		330.0	330.0		165.0	165.0	50%		8,800	8,800
	大粒	フクユタカ	825.0		825.0	825.0		825.0	100%	13,132		13,132
	中粒	フクユタカ	825.0	165.0	990.0	825.0	165.0	990.0	100%	12,878	12,010	12,733
	小粒	フクユタカ		990.0	990.0		990.0	990.0	100%		10,455	10,455
鳥取	大粒	サチユタカ		330.0	330.0		330.0	330.0	100%		11,630	11,630
島根	中粒	サチユタカ		165.0	165.0		165.0	165.0	100%		10,820	10,820
山口	大粒	サチユタカ	330.0	330.0	660.0	330.0	330.0	660.0	100%	12,645	11,865	12,255
	中粒	サチユタカ		165.0	165.0		165.0	165.0	100%		10,220	10,220
	中粒	フクユタカ	165.0		165.0	165.0		165.0	100%	12,200		12,200
福岡	大粒	フクユタカ	330.0	160.0	490.0	330.0	160.0	490.0	100%	24,260	19,800	22,804
	中粒	フクユタカ	820.0	180.0	1,000.0	820.0	180.0	1,000.0	100%	22,881	18,800	22,147
	小粒	フクユタカ	1,014.0	330.0	1,344.0	1,014.0	330.0	1,344.0	100%	18,973	19,050	18,992
熊本	大粒	フクユタカ	495.0		495.0	495.0		495.0	100%	19,887		19,887
	中粒	フクユタカ	330.0	165.0	495.0	330.0	165.0	495.0	100%	19,815	17,050	18,893
	小粒	フクユタカ		1,155.0	1,155.0		1,155.0	1,155.0	100%		17,011	17,011
大分	大粒	フクユタカ	330.0		330.0	330.0		330.0	100%	22,775		22,775
	中粒	フクユタカ	330.0	165.0	495.0	330.0	165.0	495.0	100%	21,810	19,820	21,147
全国			192,060.5	68,238.5	260,299.0	174,841.5	63,288.5	238,130.0	91%	10,389	9,819	10,237

注１：北海道の「とよまさり」については、「粒別・とよまさり」の下欄に品種群「とよまさり」を構成する品種を［ ］内に示し、その実績を内数として示している。

注２：落札率については、普通大豆、特定加工用大豆を含む。

大粒	とよまさり
大粒	［とよまさり］
大粒	［とよまさりトヨムスメ］

令和元年産大豆の播種前入札結果（産地品種銘柄別、年産累計）

（単位：トン、円/60kg（税抜き））

産地	粒別	品種銘柄	品位区分	上場数量	落札数量	落札率	落札平均価格
北海道	大粒	とよまさり	普通・3等以上	4,831.2	999.9	21%	7,725
	大粒	[とよまさりユキホマレ]	普通・3等以上	4,009.5	851.4	21%	7,761
	大粒	[とよまさりとよみづき]	普通・3等以上	821.7	148.5	18%	7,522
	小粒	ユキシズカ	普通・3等以上	891.0	752.4	84%	9,059
	小粒	スズマル	普通・3等以上	227.7	69.3	30%	9,823
青森	大粒	おおすず	普通・3等以上	366.3	108.9	30%	7,901
岩手	大粒	リュウホウ	普通・3等以上	267.3	59.4	22%	7,700
宮城	大粒	ミヤギシロメ	普通・3等以上	495.0	485.1	98%	8,177
	大粒	タチナガハ	普通・3等以上	366.3			
	大粒	タンレイ	普通・3等以上	336.6	227.7	68%	8,017
秋田	大粒	リュウホウ	普通・3等以上	772.2	297.0	38%	7,821
山形	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	267.3	99.0	37%	7,812
茨城	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	138.6			
	小粒	納豆小粒	特定加工用以上	29.7			
栃木	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	247.5	247.5	100%	7,752
新潟	大粒	エンレイ	特定加工用以上	207.9	59.4	29%	7,845
	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	386.1	287.1	74%	7,929
富山	大粒	エンレイ	特定加工用以上	514.8	29.7	6%	9,050
	大粒	シュウレイ	特定加工用以上	207.9	178.2	86%	8,118
石川	大粒	里のほほえみ	特定加工用以上	178.2	178.2	100%	8,141
福井	大粒	里のほほえみ	特定加工用以上	168.3	168.3	100%	8,074
長野	大粒	ナカセンナリ	普通・3等以上	128.7			
岐阜	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	277.2	277.2	100%	8,453
愛知	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	534.6	534.6	100%	9,391
三重	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	356.4	356.4	100%	8,090
滋賀	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	247.5	247.5	100%	8,384
	大粒	ことゆたか	普通・3等以上	198.0	49.5	25%	8,076
福岡	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	1,197.9	1,197.9	100%	8,681
佐賀	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	1,247.4	1,247.4	100%	8,360
熊本	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	267.3	267.3	100%	8,198
		全　国		15,354.9	8,424.9	55%	8,351

＜参考１＞平成３０年産大豆の播種前入札結果（産地品種銘柄別）

（単位：トン、円/60kg（税抜き））

産地	粒別	品種銘柄	品位区分	上場数量	落札数量	落札率	落札平均価格
北海道	大粒	とよまさり	普通・3等以上	5,485	663	12	7,621
	大粒	[とよまさりユキホマレ]	普通・3等以上	4,584	564	12	7,638
	大粒	[とよまさりとよみづき]	普通・3等以上	901	99	11	7,522
	小粒	ユキシズカ	普通・3等以上	931	327	35	8,475
	小粒	スズマル	普通・3等以上	257			
青森	大粒	おおすず	普通・3等以上	545	59	11	8,010
岩手	大粒	リュウホウ	普通・3等以上	267			
宮城	大粒	ミヤギシロメ	普通・3等以上	644	366	57	8,262
	大粒	タチナガハ	普通・3等以上	564	10	2	7,800
	大粒	タンレイ	普通・3等以上	406	228	56	8,191
秋田	大粒	リュウホウ	普通・3等以上	950	208	22	7,802
山形	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	277	50	18	7,800
茨城	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	188			
	小粒	納豆小粒	特定加工用以上	10			
栃木	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	366	69	19	7,800
新潟	大粒	エンレイ	特定加工用以上	376			
	大粒	里のほほえみ	普通・3等以上	337	30	9	7,800
富山	大粒	エンレイ	特定加工用以上	535	297	56	8,035
	大粒	シュウレイ	特定加工用以上	218	218	100	7,728
石川	大粒	里のほほえみ	特定加工用以上	188			
福井	大粒	里のほほえみ	特定加工用以上	178			
長野	大粒	ナカセンナリ	普通・3等以上	158			
岐阜	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	287	198	69	8,210
愛知	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	554	554	100	8,646
三重	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	356	50	14	8,010
滋賀	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	287	287	100	8,120
	大粒	ことゆたか	普通・3等以上	238			
福岡	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	1,198	743	62	8,322
佐賀	大粒	フクユタカ	普通・1等	1,327	1139	86	8,720
熊本	大粒	フクユタカ	普通・3等以上	267	267	100	8,181
		全　国		17,394	5,762	33	8,254

注１：北海道の「とよまさり」については、「粒別・とよまさり」の下欄に品種群「とよまさり」を構成する品種を［　］内に示し、その実績を内数として示している。

注２：　落札率については、普通大豆、特定加工用大豆を含む。

大粒	とよまさり
大粒	［とよまさり］
大粒	［とよまさりトヨムスメ］

＜参考２＞平成30年産大豆の産地品種銘柄別入札結果（年産累計）

- 平成30年産国産大豆の収穫量は211,300トン（「作物統計」（農林水産省統計部公表））で、前年産と比べ16%減少。
- 平成30年産大豆の平均落札価格は9,124円/60kgとなった（平成28年産9,364円/60kg、29年産8,202円/60kg）。

（北海道から茨城県まで）　　（単位：俵、円/60kg（税抜き））

産地	粒別	品種銘柄	上場数量			落札数量			落札率	平均落札価格		
			普通大豆	特定加工用大豆	合計	普通大豆	特定加工用大豆	合計		普通大豆	特定加工用大豆	合計
北海道	大粒	音更大袖振	9,075		9,075	2,145		2,145	24%	10,233		10,233
	中粒	音更大袖振		330	330							
	大粒	とよまさり	128,753	3,795	132,548	94,060	2,145	96,205	73%	8,625	8,052	8,612
	大粒	［とよまさりトヨコマチ］	330	1,320	1,650	330	165	495	30%	8,425	8,480	8,443
	大粒	［とよまさりユキホマレ］	85,675	2,475	88,150	72,775	1,980	74,755	85%	8,789	8,016	8,769
	大粒	［とよまさりトヨハルカ］	300		300							
	大粒	［とよまさりとよみづき］	42,448		42,448	20,955		20,955	49%	8,057		8,057
	中粒	とよまさり	23,820	6,600	30,420	8,970	2,475	11,445	38%	7,809	7,593	7,762
	中粒	［とよまさりユキホマレ］	15,900	6,600	22,500	7,650	2,475	10,125	45%	7,852	7,593	7,789
	中粒	［とよまさりとよみづき］	7,920		7,920	1,320		1,320	17%	7,556		7,556
	小粒	とよまさり	330	660	990	165	495	660	67%	7,740	7,497	7,558
	小粒	［とよまさりユキホマレ］	330	660	990	165	495	660	67%	7,740	7,497	7,558
	中粒	ハヤヒカリ	5,280		5,280	1,815		1,815	34%	7,455		7,455
	小粒	スズマル	1,238		1,238	1,238		1,238	100%	16,149		16,149
	極小粒	スズマル	165		165	165		165	100%	25,000		25,000
	小粒	ユキシズカ	15,599	1,548	17,147	15,108	1,275	16,383	96%	18,592	18,099	18,553
	極小粒	ユキシズカ	4,509		4,509	3,847		3,847	85%	15,656		15,656
		その他		56	56							
	(小粒)	ユキシズカ（小粒）		56	56							
青森	大粒	おおすず	7,755	3,795	11,550	6,270	660	6,930	60%	7,743	7,775	7,746
	中粒	おおすず	1,815	1,815	3,630	660		660	18%	7,625		7,625
岩手	中粒	ナンブシロメ	660	359	1,019	495		495	49%	7,767		7,767
	小粒	ナンブシロメ	660	467	1,127							
	大粒	リュウホウ	7,755	1,650	9,405	3,465		3,465	37%	7,914		7,914
	中粒	リュウホウ	990	330	1,320	495		495	38%	7,903		7,903
	小粒	リュウホウ		165	165							
	大粒	シュウリュウ	3,630	495	4,125	825		825	20%	7,996		7,996
	中粒	シュウリュウ	165		165							
宮城	大粒	ミヤギシロメ	6,435		6,435	6,270		6,270	97%	8,761		8,761
	中粒	ミヤギシロメ	7,112	7,260	14,372	6,270	1,980	8,250	57%	8,506	7,578	8,283
	中粒	［ミヤギシロメ］	842	5,775	6,617	330	660	990	15%	8,310	7,210	7,577
	中粒	［ミヤギシロメ大］	6,270	1,485	7,755	5,940	1,320	7,260	94%	8,516	7,761	8,379
	大粒	タンレイ	6,655	2,145	8,800	6,160	1,485	7,645	87%	7,852	7,483	7,780
	中粒	タンレイ	4,070	1,650	5,720	1,265		1,265	22%	7,708		7,708
	大粒	タチナガハ	13,200		13,200	5,775		5,775	44%	7,955		7,955
	中粒	タチナガハ	330		330	165		165	50%	7,760		7,760
	小粒	タチナガハ	495		495							
	大粒	あやこがね	2,475		2,475	165		165	7%	8,000		8,000
	中粒	あやこがね	165		165							
秋田	大粒	リュウホウ	9,405	2,640	12,045	7,260	495	7,755	64%	8,093	9,007	8,152
	中粒	リュウホウ	12,045	2,640	14,685	8,415	1,320	9,735	66%	8,051	7,605	7,991
	小粒	リュウホウ	165	3,300	3,465							
山形	大粒	里のほほえみ	9,240	990	10,230	5,775	330	6,105	60%	8,286	9,000	8,325
	中粒	里のほほえみ	330	165	495							
	大粒	リュウホウ	3,795		3,795	165		165	4%	7,800		7,800
	中粒	リュウホウ	1,980		1,980							
	大粒	エンレイ	5,445		5,445	5,115		5,115	94%	8,792		8,792
	中粒	エンレイ	660		660							
	小粒	エンレイ		825	825		330	330	40%		7,600	7,600
	大粒	シュウリュウ	990		990							
福島	大粒	里のほほえみ	1,980		1,980							
	大粒	タチナガハ	4,125		4,125							
	大粒	あやこがね	660		660							
茨城	大粒	里のほほえみ	6,270		6,270	660		660	11%	7,610		7,610
	中粒	里のほほえみ	165	330	495							
	中粒	タチナガハ	165		165							
	小粒	納豆小粒	2,310		2,310	1,815		1,815	79%	10,975		10,975
	極小粒	納豆小粒	1,815	165	1,980	1,485	165	1,650	83%	10,566	8,500	10,359
		その他	330		330	330		330	100%	11,410		11,410
	(小粒)	納豆小粒	330		330	330		330	100%	11,410		11,410

注１：

大粒	とよまさり
大粒	［とよまさり］
大粒	［とよまさりトヨムスメ］

北海道の「とよまさり」については、「粒別・とよまさり」の下欄に品種群「とよまさり」を構成する品種を［　］内に示し、その実績を内数として示している。

注２：　落札率については、普通大豆、特定加工用大豆を含む。

（栃木県以南）

（単位：俵、円/60kg（税抜き））

産地	粒別	品種銘柄	上場数量			落札数量			落札率	平均落札価格		
			普通大豆	特定加工用大豆	合計	普通大豆	特定加工用大豆	合計		普通大豆	特定加工用大豆	合計
栃木	大粒	里のほほえみ	8,745	2,805	11,550	5,775	1,320	7,095	61%	7,967	7,698	7,917
	中粒	里のほほえみ		330	330							
群馬	大粒	タチナガハ	51		51	51		51	100%	7,560		7,560
	中粒	タチナガハ		9	9		9	9	100%		6,940	6,940
	小粒	タチナガハ		2	2		2	2	100%		6,940	6,940
	大粒	ハタユタカ	27		27	27		27	100%	7,560		7,560
	中粒	ハタユタカ	3	96	99	3	96	99	100%	7,560	6,940	6,959
	小粒	ハタユタカ	1	48	49	1	48	49	100%	7,560	6,940	6,946
		その他	84	11	95	84	11	95	100%	7,557	6,940	7,486
千葉	大粒	サチユタカ	330		330							
	大粒	フクユタカ	1,155		1,155	990		990	86%	8,347		8,347
新潟	大粒	里のほほえみ	14,190	3,300	17,490	11,880	3,135	15,015	86%	8,139	7,748	8,058
	中粒	里のほほえみ	165		165							
	大粒	エンレイ	2,475	5,115	7,590	2,475	4,455	6,930	91%	8,782	8,584	8,655
	中粒	エンレイ	990	3,135	4,125	330		330	8%	8,110		8,110
富山	大粒	エンレイ	165	2,610	2,775	165	2,610	2,775	100%	9,010	9,115	9,109
	中粒	エンレイ	330	4,455	4,785	330	3,135	3,465	72%	8,040	7,954	7,962
	小粒	エンレイ		7,590	7,590		660	660	9%		7,715	7,715
	大粒	シュウレイ	330	2,450	2,780	330	1,965	2,295	83%	8,120	7,944	7,969
	中粒	シュウレイ		1,155	1,155		330	330	29%		7,520	7,520
石川	大粒	里のほほえみ	495	5,010	5,505	495	4,939	5,434	99%	9,100	8,130	8,218
	中粒	里のほほえみ		710	710		488	488	69%		7,987	7,987
	小粒	里のほほえみ		64	64		27	27	42%		8,004	8,004
福井	大粒	里のほほえみ	2,554		2,554	2,554		2,554	100%	8,890		8,890
長野	大粒	ナカセンナリ	2,970		2,970	2,310		2,310	78%	8,487		8,487
	中粒	ナカセンナリ	3,795		3,795	2,310		2,310	61%	7,789		7,789
	小粒	ナカセンナリ	165	165	330	165	165	330	100%	7,500	7,160	7,330
岐阜	大粒	フクユタカ	1,226	46	1,272	1,093	46	1,139	90%	10,941	7,330	10,795
	中粒	フクユタカ	165		165	165		165	100%	12,510		12,510
	小粒	フクユタカ	32	138	170		138	138	81%		7,330	7,330
愛知	大粒	フクユタカ		330	330		330	330	100%		10,510	10,510
	中粒	フクユタカ		990	990		990	990	100%		11,520	11,520
	小粒	フクユタカ		1,980	1,980		1,320	1,320	67%		8,746	8,746
三重	大粒	フクユタカ	495		495	495		495	100%	11,677		11,677
	中粒	フクユタカ		165	165		165	165	100%		8,330	8,330
	小粒	フクユタカ		660	660		660	660	100%		7,813	7,813
滋賀	中粒	オオツル	990		990	825		825	83%	7,842		7,842
	小粒	タマホマレ		330	330							
	大粒	ことゆたか	89	76	165	89	76	165	100%	8,510	8,100	8,322
	中粒	ことゆたか	414	90	504	414	90	504	100%	9,785	8,100	9,486
	小粒	ことゆたか		330	330		330	330	100%		7,250	7,250
	大粒	フクユタカ	330	165	495	330	165	495	100%	9,110	9,100	9,107
	中粒	フクユタカ	825	165	990	825	165	990	100%	9,510	8,610	9,360
	小粒	フクユタカ		1,352	1,352		1,352	1,352	100%		7,142	7,142
鳥取	大粒	サチユタカ	165	330	495		165	165	33%		7,510	7,510
島根	中粒	タマホマレ	495		495	495		495	100%	7,977		7,977
	中粒	サチユタカ	495		495	165		165	33%	7,510		7,510
山口	大粒	サチユタカ	2,339	136	2,475	1,514	136	1,650	67%	8,442	9,230	8,507
	中粒	サチユタカ	798	194	992	468	194	662	67%	8,169	7,767	8,051
	大粒	フクユタカ	825		825	495		495	60%	8,720		8,720
	中粒	フクユタカ	165		165	165		165	100%	7,510		7,510
愛媛	大粒	フクユタカ	165		165	165		165	100%	8,360		8,360
	中粒	フクユタカ	330		330	330		330	100%	7,510		7,510
	小粒	フクユタカ		165	165							
福岡	大粒	フクユタカ	14,371	2,670	17,041	12,886	1,485	14,371	84%	9,559	8,711	9,471
	中粒	フクユタカ	15,165	1,718	16,883	14,835	1,538	16,373	97%	8,842	8,245	8,786
	小粒	フクユタカ	12,134	2,756	14,890	9,094	956	10,050	67%	7,710	7,817	7,720
佐賀	大粒	フクユタカ	19,711	1,680	21,391	19,381	1,020	20,401	95%	9,925	10,165	9,937
	中粒	フクユタカ	17,631	576	18,207	17,631	576	18,207	100%	9,292	8,514	9,267
	小粒	フクユタカ	9,560	433	9,992	7,605	433	8,037	80%	7,932	8,370	7,956
熊本	大粒	フクユタカ	6,270	188	6,458	5,775	188	5,963	92%	10,040	8,760	9,999
	中粒	フクユタカ	2,970	1,656	4,626	2,640	1,656	4,296	93%	8,465	8,622	8,526
	小粒	フクユタカ	348	2,309	2,656	348	1,154	1,501	57%	8,462	7,804	7,956
大分	大粒	フクユタカ	2,328	192	2,520	2,328	192	2,520	100%	8,926	8,703	8,909
	中粒	フクユタカ	1,473	726	2,198	1,473	726	2,198	100%	8,558	8,019	8,380
	小粒	フクユタカ	5	99	104	5	99	104	100%	8,580	8,220	8,237
		全　国	466,335	105,872	572,207	329,117	52,889	382,006	67%	9,233	8,442	9,124

注１：

大粒	とよまさり
大粒	［とよまさり］
大粒	［とよまさりトヨムスメ］

北海道の「とよまさり」については、「粒別・とよまさり」の下欄に品種群「とよまさり」を構成する品種を［　］内に示し、その実績を内数として示している。

注２：　落札率については、普通大豆、特定加工用大豆を含む。

（３）野菜等の需給情報

- 農林水産省は、我が国の主要な野菜について需要に即した生産を図るため、毎年、次期作の夏秋野菜及び冬春野菜の需要量、供給量、作付面積に関するガイドラインを策定しています。
- 全国出荷団体等は、このガイドラインを踏まえ供給計画を策定し、この計画に即した野菜の出荷に努めることとしています。

Ⅰ．令和元年度 冬春野菜等の需給ガイドライン

1．需要量

種別	主な出荷時期	需要量(ﾄﾝ)	（参考） 平成29又は30年産(ﾄﾝ)
春キャベツ	令和2年4月から6月まで	271,955	276,231
冬キャベツ	元年11月から2年3月まで	445,236	436,358
冬春きゅうり	元年12月から2年6月まで	281,981	286,914
春だいこん	2年4月から6月まで	184,228	184,133
秋冬だいこん	元年10月から2年3月まで	758,411	724,912
たまねぎ	2年4月から3年3月まで	1,310,900	1,344,341
うち北海道産		729,392	768,784
うち都府県産		581,508	575,557
冬春トマト	元年12月から2年6月まで	335,871	344,768
うち大玉トマト		260,676	267,316
うちミニトマト		75,195	77,452
冬春なす	元年12月から2年6月まで	101,513	103,158
春夏にんじん	2年4月から7月まで	260,676	252,513
冬にんじん	元年11月から2年3月まで	321,979	314,481
春ねぎ	2年4月から6月まで	65,169	63,125
夏ねぎ	2年7月から9月まで	71,435	70,497
春はくさい	2年4月から6月まで	91,487	93,873
秋冬はくさい	元年10月から2年3月まで	474,164	472,087
ばれいしょ	2年4月から3年3月まで	1,764,576	1,924,850
冬春ピーマン	元年11月から2年5月まで	78,955	78,932
ほうれんそう	2年4月から3年3月まで	245,637	239,274
春レタス	2年4月から5月まで	93,994	97,031
冬レタス	元年11月から2年3月まで	150,928	145,828

（注1）ミニトマトの需給ガイドラインには、「ミディトマト」を含む（以下同じ）。
（注2）需要量は、過去10か年（平成20年～平成29年。最新値が平成30年の場合は平成21年～30年。以下同じ。）の一人当たり需要量の推移から、回帰式により推計年次の一人当たり需要量を推計し、これに当該年次の推計人口を乗ずることにより、下表の程度と推計。なお、需要量は純食料（人間の消費に直接利用可能な食料の形態）ベースで推計。

2．国内産供給量

種別	国内産供給量 （収穫量）(ﾄﾝ)	（参考） 平成29又は30年産
春キャベツ	376,484	376,800
冬キャベツ	610,845	555,800
冬春きゅうり	293,018	298,100
春だいこん	211,298	210,400
秋冬だいこん	884,792	845,000
たまねぎ	1,122,481	1,155,000
うち北海道産	692,516	717,400
うち都府県産	429,965	437,600
冬春トマト	398,514	409,600
うち大玉トマト	310,430	318,600
うちミニトマト	88,084	91,000
冬春なす	115,409	116,900
春夏にんじん	160,722	155,500
冬にんじん	244,438	224,000
春ねぎ	81,336	77,500
夏ねぎ	89,013	86,200
春はくさい	113,998	116,100
秋冬はくさい	590,209	577,900
ばれいしょ	1,223,274	1,334,604
冬春ピーマン	75,890	73,500
ほうれんそう	242,946	228,100
春レタス	115,270	118,900
冬レタス	177,417	162,200

（注）1．で見込んだ需要量を歩留り率及び（1－減耗率）で除し、輸入動向を勘案して推計。

3．作付面積

種別	作付面積(ha)		
	令和元年度 ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ	（参考） 平成30年度 ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ	平成29又は 30年産
春キャベツ	9,070	9,100	9,040
冬キャベツ	15,700	15,500	15,400
冬春きゅうり	2,760	2,850	2,760
春だいこん	4,440	4,500	4,450
秋冬だいこん	21,100	22,000	21,200
たまねぎ	24,000	24,100	26,200
うち北海道産	12,800	12,800	14,700
うち都府県産	11,200	11,300	11,500
冬春トマト	3,940	4,070	3,970
うち大玉トマト	2,910	3,020	2,910
うちミニトマト	1,030	1,050	1,060
冬春なす	1,090	1,100	1,080
春夏にんじん	4,260	4,250	4,190
冬にんじん	7,860	7,820	7,800
春ねぎ	3,450	3,490	3,430
夏ねぎ	5,000	5,090	4,920
春はくさい	1,840	1,860	1,840
秋冬はくさい	12,900	13,100	12,900
ばれいしょ	77,200	79,500	77,200
冬春ピーマン	703	702	700
ほうれんそう	21,300	21,400	20,500
春レタス	4,280	4,270	4,290
冬レタス	7,780	7,780	7,810

（注）2．で見込んだ国内産供給量を過去10カ年の単収の推移から回帰式等により推計した単収で除して推計。

Ⅱ．令和2年度　夏秋野菜等の需給ガイドライン

1．需要量

種別	主な出荷時期	需要量(ﾄﾝ)	（参考）平成30年産(ﾄﾝ)
夏秋キャベツ	令和2年7月から10月まで	345,900	360,873
夏秋きゅうり	2年7月から11月まで	241,900	239,141
秋冬さといも	2年6月から3年3月まで	151,600	147,469
夏だいこん	2年7月から9月まで	214,300	206,911
夏秋トマト	2年7月か7ら11月まで	260,700	245,036
うち大玉トマト		209,300	198,138
うちミニトマト※		51,400	46,898
夏秋なす	2年7月から11月まで	165,400	159,564
秋にんじん	2年8月から10月まで	253,200	261,970
秋冬ねぎ	2年10月から3年3月まで	221,800	220,771
夏はくさい	2年7月から9月まで	141,600	143,952
夏秋ピーマン	2年6月から10月まで	63,900	61,960
夏秋レタス	2年6月から10月まで	233,100	226,237

（注1）ミニトマトの需給ガイドラインには、「ミディトマト」を含む。
（注2） 需要量は、過去10か年（平成21年～平成30年。以下同じ。）の一人当たり需要量の推移から、回帰式により推計年次の一人当たり需要量を推計し、これに当該年次の推計人口を乗ずることにより、下表の程度と推計。なお、需要量は純食料（人間の消費に直接利用可能な食料の形態）ベースで推計。

2．国内産供給量

種別	国内産供給量（収穫量）(ﾄﾝ)	（参考）平成30年産(ﾄﾝ)
夏秋キャベツ	481,200	499,500
夏秋きゅうり	254,300	251,800
秋冬さといも	150,500	144,700
夏だいこん	248,900	240,200
夏秋トマト	309,000	288,900
うち大玉ﾄﾏﾄ	249,000	235,100
うちﾐﾆﾄﾏﾄ	60,000	53,800
夏秋なす	190,300	183,500
秋にんじん	200,900	178,500
秋冬ねぎ	304,000	289,300
夏はくさい	177,000	179,200
夏秋ピーマン	61,200	59,600
夏秋レタス	284,200	275,600

（注）1．で見込んだ需要量を歩留り率及び（1－減耗率）で除し、輸入動向を勘案して推計。

3．作付面積

種別	作付面積(ha)		
	令和2年度ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ	（参考）	
		令和元年度ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ	平成30年
夏秋キャベツ	10,100	10,100	10,200
夏秋きゅうり	7,960	8,090	7,810
秋冬さといも	11,900	12,300	11,500
夏だいこん	6,210	6,300	5,990
夏秋トマト	7,700	7,720	7,410
うち大玉ﾄﾏﾄ	6,110	6,140	5,950
うちﾐﾆﾄﾏﾄ	1,590	1,580	1,460
夏秋なす	8,080	8,220	7,890
秋にんじん	5,850	5,960	5,410
秋冬ねぎ	14,800	14,800	14,000
夏はくさい	2,490	2,490	2,420
夏秋ピーマン	2,280	2,290	2,190
夏秋レタス	9,070	9,030	9,100

（注）2．で見込んだ国内産供給量を過去10カ年の単収の推移から回帰式等により推計した単収で除して推計。

Ⅲ．今後の生育、出荷及び価格見通し（令和2年4月）について

品目	主産地 （ ）書きは平成31年４月の入荷シェア	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し （平年（直近5か年平均）比）	
			４月前半	４月後半
だいこん	千葉(77%)	・主産地において、生育が良好であり、順調な出荷となる見込みだが、大幅な出荷数量の増加までは見込まれないため、4月の出荷数量は平年並みで推移し、価格は平年をやや下回ると見込まれるが、平年並みの範囲で推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
にんじん	徳島(85%)	・主産地において、生育が良好であり、順調な出荷となる見込みだが、大幅な出荷数量の増加までは見込まれないため、4月の出荷数量は平年並みで推移し、価格は平年をやや下回ると見込まれるが、平年並みの範囲で推移する見込み。 ・なお、3月中下旬は、主産地の切り替わりによる一時的な端境が生じたため、出荷数量が減少し、価格が平年を上回って推移したが、4月は、端境が解消され、出荷数量が徐々に増加し、価格が下落してくる見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
はくさい	茨城(97%)	・主産地において、生育が良好であり、順調な出荷となる見込みだが、大幅な出荷数量の増加までは見込まれないため、4月の出荷数量は平年並みで推移し、価格は平年をやや下回ると見込まれるが、平年並みの範囲で推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
キャベツ	愛知(42%) 神奈川(37%) 千葉(18%)	・主産地において、生育が良好であり、順調な出荷となる見込みだが、大幅な出荷数量の増加までは見込まれないため、4月の出荷数量は平年並みで推移し、価格は平年をやや下回ると見込まれるが、平年並みの範囲で推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
ほうれんそう	茨城(41%) 群馬(37%) 埼玉(10%)	・主産地において、生育が平年並みで推移する見込みのため、4月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移

注:「平年並み」とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示している。

Ⅲ．今後の生育、出荷及び価格見通し（令和2年4月）について

品目	主産地 （ ）書きは 平成31年４月の 入荷シェア	今後の生育及び出荷見通し	価格見通し （平年（直近5か年平均）比）	
			４月前半	４月後半
ねぎ	千葉(40%) 埼玉(19%) 茨城(15%)	・主産地において、生育が良好であり、順調な出荷となる見込みだが、大幅な出荷数量の増加までは見込まれないため、4月の出荷数量は平年並みで推移し、価格は平年をやや下回ると見込まれるが、平年並みの範囲で推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
レタス	茨城(61%) 兵庫(16%)	・主産地において、生育が良好であり、順調な出荷となる見込みだが、大幅な出荷数量の増加までは見込まれないため、4月の出荷数量は平年並みで推移し、価格は平年をやや下回ると見込まれるが、平年並みの範囲で推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
きゅうり	群馬(25%) 埼玉(24%) 宮崎(14%) 千葉(12%)	・主産地において、生育が平年並みで推移する見込みのため、4月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
なす	高知(55%) 福岡(16%)	・主産地において、生育が平年並みで推移する見込みのため、4月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
トマト	熊本(32%) 栃木(25%) 愛知(11%)	・主産地において、生育が平年並みで推移する見込みのため、4月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
ピーマン	茨城(44%) 宮崎(25%) 高知(14%)	・主産地において、生育が平年並みで推移する見込みのため、4月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
ばれいしょ	鹿児島(64%) 北海道(26%)	・主産地において、作柄が良好であり、出荷数量の増加が見込まれるため、4月の出荷数量は平年をやや上回り、価格は平年を下回る見込み。	安値水準で推移	安値水準で推移
さといも	埼玉(57%) 千葉(25%)	・主産地において、作柄が平年並みであるため、4月の出荷数量、価格ともに平年並みで推移する見込み。	平年並みで推移	平年並みで推移
たまねぎ	佐賀(46%) 北海道(45%)	・主産地において、作柄が良好であり、一部産地では、肥大が進み、大玉中心の出荷が見込まれるため、4月の出荷数量は平年をやや上回り、価格は平年を下回る見込み。	安値水準で推移	安値水準で推移

注:「平年並み」とは、平年との比率が80%以上、120%未満であることを示している。

（4） 令和元年産水陸の収穫量

（令和元年12月10日公表）

水稲の収穫量（主食用）は726万1,000t

調査結果の概要

1　令和元年産水稲の作付面積（子実用）は146万9,000haで、前年産に比べ1,000ha減少した。うち主食用作付見込面積は137万9,000haで、前年産に比べ7,000ha減少した。

2　全国の10ａ当たり収量は528kg（1.70㎜のふるい目幅ベース。10ａ当たり平年収量533kg。）となり、前年産に比べ１kgの減少が見込まれる。

3　以上の結果、収穫量（子実用）は776万2,000ｔで、前年産に比べ１万8,000ｔの減少が見込まれる。このうち、主食用の収穫量は726万1,000ｔで、前年産に比べ６万6,000ｔの減少が見込まれる。

4　なお、農家等が使用しているふるい目幅ベースの全国の10ａ当たり収量は514kg（10ａ当たり平年収量519kg）となり、作況指数は99となる見込み。

5　令和元年産陸稲の作付面積（子実用）は702haで、10ａ当たり収量は228kg（10ａ当たり平均収量対比97%）となり、収穫量（子実用）は1,600ｔとなった。

令和元年産水稲の作付面積及び収穫量

全国農業地域	作付面積（子実用）			10ａ当たり収量		収穫量（子実用）			参考		
	実数	前年産との比較		実数	前年産との比較	実数	前年産との比較		主食用作付面積	収穫量（主食用）	作況指数
	①	対差	対比	②	対差	③＝①×②	対差	対比	④	⑤＝④×②	
	ha	ha	%	kg	kg	t	t	%	ha	t	
全国	1,469,000	△ 1,000	100	528	△ 1	7,762,000	△ 18,000	100	1,379,000	7,261,000	99
北海道	103,000	△ 1,000	99	571	76	588,100	73,300	114	97,000	553,900	104
東北	382,000	2,900	101	586	22	2,239,000	102,000	105	344,600	2,015,000	104
北陸	206,500	900	100	540	7	1,115,000	19,000	102	186,400	1,007,000	101
関東・東山	271,100	800	100	522	△ 17	1,414,000	△ 43,000	97	258,400	1,348,000	97
東海	93,100	△ 300	100	491	△ 4	457,100	△ 5,300	99	90,500	444,800	98
近畿	102,600	△ 500	100	503	1	516,400	△ 1,100	100	99,000	498,000	99
中国	102,100	△ 1,600	98	503	△ 16	513,200	△ 24,600	95	99,400	499,800	97
四国	48,300	△ 1,000	98	457	△ 16	220,700	△ 12,700	95	47,800	218,500	94
九州	160,000	△ 400	100	435	△ 77	696,400	△ 124,900	85	155,100	674,300	86
沖縄	677	△ 39	95	298	△ 9	2,020	△ 180	92	665	1,980	97

資料：農林水産省統計部『作物統計』

注：1　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。

2　主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。

3　10ａ当たり収量及び収穫量は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である（以下同じ。）。

4　作況指数とは、10ａ当たり平年収量に対する10ａ当たり収量の比率であり、平成27年産からは全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80㎜、四国及び沖縄は1.75㎜）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。なお、平成26年産までは1.70㎜のふるい目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である（以下同じ。）。

5　収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10a当たり収量及び収穫量（子実用）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70㎜ 以上で選別された玄米の重量としている。

農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）の概数値を示すと次のとおりである。

ふるい目幅別重量分布状況の推移

単位：%

年　産	計	1.70㎜以上 1.75㎜未満	1.75 ～1.80	1.80 ～1.85	1.85 ～1.90	1.90 ～2.00	2.00㎜ 以　上
平成26年産	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
27	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	15.3	77.8
28	100.0	0.7	1.2	1.7	2.4	14.0	80.0
29	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
30	100.0	0.9	1.6	2.3	3.3	17.6	74.3
令和元年産（概数値）	**100.0**	**0.7**	**1.4**	**1.9**	**2.8**	**15.3**	**77.9**
平 均 値	100.0	0.8	1.4	2.0	2.8	15.5	77.5
対平均差（ポイント）	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.1	0.0	△ 0.2	0.4

注：1　平均値は、直近５か年の重量割合の平均である（以下同じ。）。
　　2　未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる（以下同じ。）。

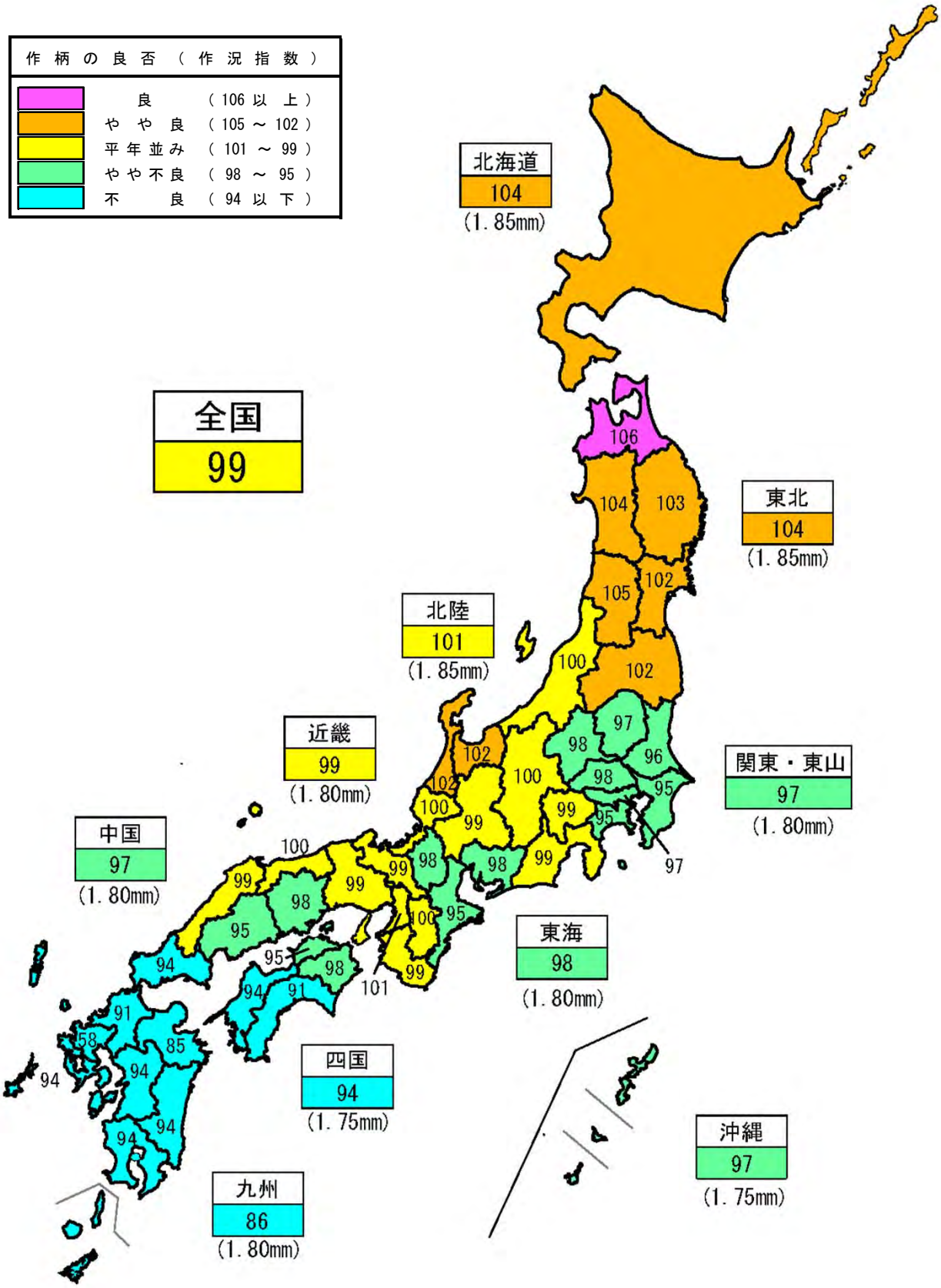
ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）の推移

年　産		単位	1.70㎜ 以　上	1.75㎜ 以　上	1.80㎜ 以　上	1.85㎜ 以　上	1.90㎜ 以　上	2.00㎜ 以　上
平成26年産	10ａ当たり収量	kg	536	532	524	513	499	420
	収穫量（子実用）	t	8,435,000	8,368,000	8,249,000	8,081,000	7,853,000	6,613,000
27	10ａ当たり収量	kg	531	527	519	509	494	413
	収穫量（子実用）	t	7,986,000	7,922,000	7,810,000	7,651,000	7,435,000	6,213,000
28	10ａ当たり収量	kg	544	540	534	524	511	435
	収穫量（子実用）	t	8,042,000	7,986,000	7,889,000	7,752,000	7,559,000	6,434,000
29	10ａ当たり収量	kg	534	529	521	510	494	409
	収穫量（子実用）	t	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000
30	10ａ当たり収量	kg	529	524	516	504	486	393
	収穫量（子実用）	t	7,780,000	7,710,000	7,586,000	7,407,000	7,150,000	5,781,000
令和元年産（概数値）	**10ａ当たり収量**	kg	**528**	**524**	**517**	**507**	**492**	**411**
	収穫量（子実用）	t	**7,762,000**	**7,708,000**	**7,599,000**	**7,452,000**	**7,234,000**	**6,047,000**
	対前年比	%	100	100	100	101	101	105

注：1　ふるい目幅別の10ａ当たり収量とは、10ａ当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである（以下同じ。）。
　　2　ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである（以下同じ。）。

「令和元年産水陸稲の収穫量」は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のＵＲＬから御覧いただけます。
【 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y5 】

全国農業地域・都道府県別作況指数
【農家等が使用しているふるい目幅ベース】



注：1　全国農業地域の作況指数の下に記載されている括弧内の数値は、全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅である。
2　徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作況指数は早期栽培（第一期稲）、普通栽培（第二期稲）を合算したものである。

令和元年産水稲の作付面積及び収穫量

全国・都道府県		作付面積（子実用）			10ａ当たり収量 ②	（参考）農家等が使用しているふるい目幅で選別		
		実数 ①	前年産との比較			10ａ当たり収量 ③	10ａ当たり平年収量 ④	作況指数 ⑤＝③／④
			対差	対比				
		ha	ha	%	kg	kg	kg	
全国	(1)	1,469,000	△ 1,000	100	528	514	519	99
北海道	(2)	103,000	△ 1,000	99	571	555	532	104
青森	(3)	45,000	800	102	627	612	575	106
岩手	(4)	50,500	200	100	554	538	522	103
宮城	(5)	68,400	1,000	101	551	531	522	102
秋田	(6)	87,800	100	100	600	577	554	104
山形	(7)	64,500	0	100	627	611	580	105
福島	(8)	65,800	900	101	560	540	529	102
茨城	(9)	68,300	△ 100	100	504	493	515	96
栃木	(10)	59,200	700	101	526	514	529	97
群馬	(11)	15,500	△ 100	99	486	470	482	98
埼玉	(12)	32,000	100	100	482	468	476	98
千葉	(13)	56,000	400	101	516	508	532	95
東京	(14)	129	△ 4	97	402	390	404	97
神奈川	(15)	3,040	△ 40	99	470	454	478	95
新潟	(16)	119,200	1,000	101	542	530	528	100
富山	(17)	37,200	△ 100	100	553	540	528	102
石川	(18)	25,000	△ 100	100	532	515	506	102
福井	(19)	25,100	100	100	520	497	499	100
山梨	(20)	4,890	△ 10	100	541	526	533	99
長野	(21)	32,000	△ 200	99	620	609	607	100
岐阜	(22)	22,500	0	100	482	473	478	99
静岡	(23)	15,700	△ 100	99	517	507	513	99
愛知	(24)	27,500	△ 100	100	499	490	499	98
三重	(25)	27,300	△ 200	99	477	465	489	95
滋賀	(26)	31,700	0	100	509	498	506	98
京都	(27)	14,400	△ 100	99	505	495	501	99
大阪	(28)	4,850	△ 160	97	502	485	480	101
兵庫	(29)	36,800	△ 200	99	497	484	489	99
奈良	(30)	8,490	△ 90	99	515	502	500	100
和歌山	(31)	6,360	△ 70	99	494	482	486	99
鳥取	(32)	12,700	△ 100	99	514	503	504	100
島根	(33)	17,300	△ 200	99	506	496	502	99
岡山	(34)	30,100	△ 100	100	517	503	514	98
広島	(35)	22,700	△ 700	97	499	487	515	95
山口	(36)	19,300	△ 500	97	474	461	492	94
徳島	(37)	11,300	△ 100	99	464	459	469	98
早期栽培	(38)	4,340	△ 60	99	456	451	459	98
普通栽培	(39)	6,940	△ 60	99	470	465	475	98
香川	(40)	12,000	△ 500	96	471	464	491	95
愛媛	(41)	13,600	△ 300	98	470	463	492	94
高知	(42)	11,400	△ 100	99	420	414	454	91
早期栽培	(43)	6,440	△ 30	100	455	450	476	95
普通栽培	(44)	4,980	△ 20	100	375	368	425	87
福岡	(45)	35,000	△ 300	99	454	433	477	91
佐賀	(46)	24,100	△ 200	99	298	291	503	58
長崎	(47)	11,400	△ 100	99	455	435	464	94
熊本	(48)	33,300	0	100	483	466	497	94
大分	(49)	20,600	△ 100	100	435	407	480	85
宮崎	(50)	16,100	0	100	465	451	482	94
早期栽培	(51)	6,300	△ 110	98	459	450	470	96
普通栽培	(52)	9,780	110	101	469	452	490	92
鹿児島	(53)	19,500	300	102	454	440	468	94
早期栽培	(54)	4,370	30	101	438	427	435	98
普通栽培	(55)	15,200	400	103	458	444	478	93
沖縄	(56)	677	△ 39	95	298	296	306	97
第一期稲	(57)	506	△ 21	96	331	330	359	92
第二期稲	(58)	171	△ 18	90	200	196	159	123

注：1　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
　　2　主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
　　3　収穫量（子実用）及び収穫量（主食用）については都道府県ごとの積上げ値であるため、表頭の計算は一致しない場合がある。

収穫量（子実用）			参考		
実数 ⑥＝①×②	前年産との比較		主食用作付面積 ⑦	収穫量（主食用） ⑧＝⑦×②	
	対差	対比			
t	t	%	ha	t	
7,762,000	△ 18,000	100	1,379,000	7,261,000	(1)
588,100	73,300	114	97,000	553,900	(2)
282,200	18,800	107	39,200	245,800	(3)
279,800	6,700	102	48,300	267,600	(4)
376,900	5,500	101	64,800	357,000	(5)
526,800	35,700	107	74,900	449,400	(6)
404,400	30,300	108	56,900	356,800	(7)
368,500	4,400	101	60,400	338,200	(8)
344,200	△ 14,200	96	66,400	334,700	(9)
311,400	△ 10,400	97	54,900	288,800	(10)
75,300	△ 3,600	95	13,600	66,100	(11)
154,200	△ 1,200	99	30,900	148,900	(12)
289,000	△ 12,400	96	53,700	277,100	(13)
519	△ 36	94	129	519	(14)
14,300	△ 900	94	3,040	14,300	(15)
646,100	18,500	103	106,800	578,900	(16)
205,700	△ 200	100	33,300	184,100	(17)
133,000	2,700	102	22,700	120,800	(18)
130,500	△ 2,000	98	23,600	122,700	(19)
26,500	△ 100	100	4,810	26,000	(20)
198,400	△ 600	100	30,900	191,600	(21)
108,500	900	101	21,400	103,100	(22)
81,200	1,300	102	15,600	80,700	(23)
137,200	△ 500	100	26,600	132,700	(24)
130,200	△ 7,000	95	26,900	128,300	(25)
161,400	△ 900	99	30,200	153,700	(26)
72,700	△ 100	100	13,800	69,700	(27)
24,300	△ 400	98	4,850	24,300	(28)
182,900	900	100	35,300	175,400	(29)
43,700	△ 400	99	8,450	43,500	(30)
31,400	△ 200	99	6,360	31,400	(31)
65,300	1,600	103	12,600	64,800	(32)
87,500	△ 4,200	95	16,900	85,500	(33)
155,600	△ 500	100	29,300	151,500	(34)
113,300	△ 9,600	92	22,200	110,800	(35)
91,500	△ 11,900	88	18,400	87,200	(36)
52,400	△ 1,200	98	11,000	51,000	(37)
19,800	△ 700	97	…	…	(38)
32,600	△ 600	98	…	…	(39)
56,500	△ 3,400	94	12,000	56,500	(40)
63,900	△ 5,300	92	13,500	63,500	(41)
47,900	△ 2,800	94	11,300	47,500	(42)
29,300	△ 800	97	…	…	(43)
18,700	△ 1,900	91	…	…	(44)
158,900	△ 24,000	87	34,500	156,600	(45)
71,800	△ 57,500	56	23,700	70,600	(46)
51,900	△ 5,500	90	11,300	51,400	(47)
160,800	△ 15,400	91	32,300	156,000	(48)
89,600	△ 14,100	86	20,400	88,700	(49)
74,900	△ 4,500	94	14,600	67,900	(50)
28,900	△ 1,600	95	…	…	(51)
45,900	△ 2,900	94	…	…	(52)
88,500	△ 3,900	96	18,300	83,100	(53)
19,100	△ 400	98	…	…	(54)
69,600	△ 2,900	96	…	…	(55)
2,020	△ 180	92	665	1,980	(56)
1,670	△ 250	87	…	…	(57)
342	60	121	…	…	(58)

4　（参考）の農家等が使用しているふるい目幅で選別された③10ａ当たり収量、④10ａ当たり平年収量及び⑤作況指数については、全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80㎜、四国及び沖縄は1.75㎜）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

5　　徳島県、高知県、宮崎県、鹿児島県及び沖縄県の作期別の主食用作付面積は、備蓄米、加工用米、新規需要米等の面積を把握していないことから「…」で示している。

(5)　水稲作付面積及び収穫量等の年次別推移（全国）

年　産	作付面積（子実用）	10ａ当たり収　量	10ａ当たり平年収量	（参考）農家等が使用しているふるい目幅で選別		作況指数	収穫量（子実用）	参　考		
				10ａ当たり収　量	10ａ当たり平年収量			主食用作付面積	収穫量（主食用）	生産数量目標
	ha	kg	kg	kg	kg		t	ha	t	t
平成19年産	1,669,000	522	529	－	－	99	8,705,000	1,637,000	8,540,000	8,280,000
20	1,624,000	543	530	－	－	102	8,815,000	1,596,000	8,658,000	8,150,000
21	1,621,000	522	530	－	－	98	8,466,000	1,592,000	8,309,000	8,150,000
22	1,625,000	522	530	－	－	98	8,478,000	1,580,000	8,239,000	8,130,000
23	1,574,000	533	530	－	－	101	8,397,000	1,526,000	8,133,000	7,950,000
24	1,579,000	540	530	－	－	102	8,519,000	1,524,000	8,210,000	7,930,000
25	1,597,000	539	530	－	－	102	8,603,000	1,522,000	8,182,000	7,910,000
26	1,573,000	536	530	－	－	101	8,435,000	1,474,000	7,882,000	7,650,000
27	1,505,000	531	531	515	517	100	7,986,000	1,406,000	7,442,000	7,510,000
28	1,478,000	544	531	531	517	103	8,042,000	1,381,000	7,496,000	7,430,000
29	1,465,000	534	532	517	518	100	7,822,000	1,370,000	7,306,000	7,350,000
30	1,470,000	529	532	511	519	98	7,780,000	1,386,000	7,327,000	－

資料：　農林水産省「作物統計」、「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」
注：１　作付面積（子実用）とは、青刈り面積（飼料用米等を含む。）を除いた面積である。
　　２　10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）は、1.70㎜のふるい目幅で選別された玄米の重量である。
　　３　平成19年産の主食用作付面積及び収穫量（主食用）は、農林水産省生産局資料による。
　　平成20年産以降は、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
　　４　作況指数は、平成27年産からは全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80㎜、四国及び沖縄は1.75㎜）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。なお、平成26年産までは1.70㎜のふるい目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
　　５　生産数量目標は、食料、農業・農村政策審議会食糧部会で定めた数量目標。

（6）　水稲玄米のふるい目幅別重量分布状況、10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）の年次別推移（全国）

本調査では、飯用に供し得る玄米の全量を把握することを目的としていることから、収量基準は、農産物規格規程に定める三等の品位（整粒歩合45%）以上に相当するよう、ふるい目幅1.70㎜以上で選別された玄米の重量としている。
農家等が販売するために使用しているふるい目幅は、地域、品種等により異なるため、参考として刈取り済みの地域について、ふるい目幅別の重量割合の概数値並びにふるい目幅別10ａ当たり収量及び収穫量（子実用）を示すと次のとおりである。

①　ふるい目幅別重量分布状況（年産別）

単位：%

年　産	計	1.70㎜以上1.75㎜未満	1.75～1.80	1.80～1.85	1.85～1.90	1.90～2.00	2.00㎜以　上
平成19年産	100.0	0.7	1.1	1.8	3.0	17.9	75.5
20	100.0	0.9	1.3	2.1	3.0	16.5	76.2
21	100.0	0.8	1.3	2.1	3.2	17.4	75.2
22	100.0	0.6	1.0	1.6	2.3	13.2	81.3
23	100.0	0.9	1.4	2.2	3.1	16.6	75.8
24	100.0	0.6	1.0	1.5	2.2	13.0	81.7
25	100.0	0.8	1.3	1.9	2.7	14.5	78.8
26	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	14.7	78.4
27	100.0	0.8	1.4	2.0	2.7	15.3	77.8
28	100.0	0.7	1.2	1.7	2.4	14.0	80.0
29	100.0	0.9	1.5	2.1	2.9	16.1	76.5
30	100.0	0.9	1.6	2.3	3.3	17.6	74.3
平　均　値	100.0	0.8	1.4	1.9	2.7	14.9	78.3
対平均差（ﾎﾟｲﾝﾄ）	0.0	0.1	0.2	0.4	0.6	2.7	△ 4.0

資料：　農林水産省「作物統計」
注：１　平均値は、直近５か年の重量割合の平均である。
　　２　未熟粒・被害粒等の混入が多く農産物規格規程に定める三等の品位に達しない場合は、再選別を行っており、その選別後の値を含んでいる。

②ふるい目幅別10a当たり収量及び収穫量（子実用）の推移

年産		単位	1.70mm以上	1.75mm以上	1.80mm以上	1.85mm以上	1.90mm以上	2.00mm以上
平成19年産	10ａ当たり収量	kg	522	518	513	503	488	394
20	10ａ当たり収量	kg	543	538	531	520	503	414
21	10ａ当たり収量	kg	522	518	511	500	483	393
22	10ａ当たり収量	kg	522	519	514	505	493	424
23	10ａ当たり収量	kg	533	528	521	509	492	404
24	10ａ当たり収量	kg	540	537	531	523	511	441
	収穫量（子実用）	t	8,519,000	8,468,000	8,383,000	8,255,000	8,067,000	6,960,000
25	10ａ当たり収量	kg	539	535	528	517	503	425
	収穫量（子実用）	t	8,603,000	8,534,000	8,422,000	8,259,000	8,027,000	6,779,000
26	10ａ当たり収量	kg	536	532	524	513	499	420
	収穫量（子実用）	t	8,435,000	8,368,000	8,249,000	8,081,000	7,853,000	6,613,000
27	10ａ当たり収量	kg	531	527	519	509	494	413
	収穫量（子実用）	t	7,986,000	7,922,000	7,810,000	7,651,000	7,435,000	6,213,000
28	10ａ当たり収量	kg	544	540	534	524	511	435
	収穫量（子実用）	t	8,042,000	7,986,000	7,889,000	7,752,000	7,559,000	6,434,000
29	10ａ当たり収量	kg	534	529	521	510	494	409
	収穫量（子実用）	t	7,822,000	7,752,000	7,634,000	7,470,000	7,243,000	5,984,000
30	10ａ当たり収量	kg	529	524	516	504	486	393
	収穫量（子実用）	t	7,780,000	7,710,000	7,586,000	7,407,000	7,150,000	5,781,000
	対前年比	%	99	99	99	99	99	97

資料：　農林水産省「作物統計」
注：１　ふるい目幅別の収穫量（子実用）については、平成24年産より集計・公表を行っている。
　　２　ふるい目幅別の10a当たり収量とは、全国の10a当たり収量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。
　　３　ふるい目幅別の収穫量（子実用）とは、全国の収穫量にふるい目幅別重量割合を乗じて算出したものである。

（7）　年産・都道府県別主食用米の作付面積及び収穫量等の推移

平成28～30年産

全国・都道府県	作付面積（主食用）			収穫量（主食用）			作況指数			
	30	29	28	30	29	28	30	29	28	
	ha	ha	ha	t	t	t				
全国 (1)	1,386,000	1,370,000	1,381,000	7,327,000	7,306,000	7,496,000	98	100	103	(1)
北海道 (2)	98,900	98,600	99,000	489,600	552,200	545,500	90	103	102	(2)
青森 (3)	39,600	38,000	36,800	236,000	226,500	222,300	101	101	104	(3)
岩手 (4)	48,800	47,000	47,100	265,000	250,500	254,300	101	98	102	(4)
宮城 (5)	64,500	63,500	63,600	355,400	339,700	352,300	101	99	105	(5)
秋田 (6)	75,000	69,500	69,300	420,000	398,900	409,600	96	99	104	(6)
山形 (7)	56,400	56,400	56,800	327,100	337,300	345,300	96	100	103	(7)
福島 (8)	61,200	59,900	60,100	343,300	328,900	333,600	101	100	102	(8)
茨城 (9)	66,800	66,400	67,200	350,000	348,600	350,100	99	99	99	(9)
栃木 (10)	54,700	53,600	53,600	300,900	273,400	295,300	102	93	102	(10)
群馬 (11)	13,700	13,900	14,100	69,300	69,400	71,200	102	101	102	(11)
埼玉 (12)	30,800	30,700	31,200	150,000	151,700	154,100	99	101	101	(12)
千葉 (13)	53,900	53,300	53,900	292,100	289,400	295,900	99	100	102	(13)
東京 (14)	133	141	151	555	580	627	101	99	101	(14)
神奈川 (15)	3,080	3,090	3,110	15,200	15,700	15,400	98	102	101	(15)
新潟 (16)	104,700	100,300	101,500	556,000	527,600	589,700	95	96	108	(16)
富山 (17)	33,300	33,300	33,800	183,800	181,800	191,300	102	100	106	(17)
石川 (18)	23,200	23,200	23,200	120,400	120,400	123,900	100	99	104	(18)
福井 (19)	23,600	23,300	23,600	125,100	122,300	126,300	101	101	104	(19)
山梨 (20)	4,820	4,880	4,940	26,100	26,800	27,000	99	100	101	(20)
長野 (21)	31,300	31,300	31,700	193,400	196,900	197,800	100	101	101	(21)
岐阜 (22)	21,500	21,500	21,700	102,800	104,900	105,500	97	100	100	(22)
静岡 (23)	15,700	15,600	15,800	79,400	80,300	83,000	97	99	101	(23)
愛知 (24)	26,700	26,600	26,900	133,200	136,200	140,100	98	101	103	(24)
三重 (25)	27,100	26,800	27,000	135,200	128,600	140,900	100	95	105	(25)
滋賀 (26)	30,100	30,000	30,200	154,100	155,100	161,300	99	100	104	(26)
京都 (27)	13,900	14,100	14,300	69,800	71,900	73,800	98	100	101	(27)
大阪 (28)	5,000	5,150	5,310	24,700	26,100	26,800	99	102	102	(28)
兵庫 (29)	35,500	35,100	35,400	174,700	175,900	177,400	98	100	100	(29)
奈良 (30)	8,530	8,580	8,680	43,800	44,700	45,600	100	102	102	(30)
和歌山 (31)	6,430	6,560	6,720	31,600	33,300	34,100	99	102	102	(31)
鳥取 (32)	12,700	12,400	12,500	63,200	64,500	65,300	97	101	102	(32)
島根 (33)	17,200	17,200	17,300	90,100	89,300	91,300	103	102	104	(33)
岡山 (34)	29,400	29,100	29,200	152,000	158,300	155,600	98	103	102	(34)
広島 (35)	22,900	23,100	23,400	120,200	123,400	124,300	101	102	102	(35)
山口 (36)	18,900	19,300	19,800	98,700	100,600	101,400	104	103	102	(36)
徳島 (37)	11,200	11,300	11,500	52,600	54,200	56,400	99	101	104	(37)
香川 (38)	12,500	12,800	13,200	59,900	62,000	67,100	96	98	102	(38)
愛媛 (39)	13,900	13,900	14,200	69,200	70,600	72,100	100	102	102	(39)
高知 (40)	11,400	11,500	11,600	50,300	54,200	53,100	96	103	100	(40)
福岡 (41)	34,900	35,100	35,400	180,800	178,700	177,400	104	102	100	(41)
佐賀 (42)	24,000	24,400	24,600	127,700	129,600	128,200	102	102	101	(42)
長崎 (43)	11,400	11,600	12,000	56,900	57,400	59,500	104	101	104	(43)
熊本 (44)	32,300	32,200	32,500	170,900	169,700	171,300	103	102	102	(44)
大分 (45)	20,600	20,900	21,100	103,200	105,800	106,300	100	101	101	(45)
宮崎 (46)	14,700	15,000	15,500	72,500	74,900	77,200	100	101	100	(46)
鹿児島 (47)	18,300	19,600	20,200	88,000	95,300	97,600	100	100	100	(47)
沖縄 (48)	716	727	785	2,200	2,190	2,300	99	97	96	(48)

資料：農林水産省統計部『作物統計』
注：１　作付面積（主食用）は、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた面積である。
　　２　作況指数は、平成27年産からは全国農業地域ごとに、過去５か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、大きいものから数えて９割を占めるまでの目幅（北海道、東北及び北陸は1.85㎜、関東・東山、東海、近畿、中国及び九州は1.80㎜、四国及び沖縄は1.75㎜）以上に選別された玄米を基に算出した数値である。なお、平成26年産までは1.70㎜のふるい目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。

平成25～27年産

全国・都道府県	作付面積（主食用）			収穫量（主食用）			作況指数			
	27	26	25	27	26	25	27	26	25	
	ha	ha	ha	t	t	t				
全国 (1)	1,406,000	1,474,000	1,522,000	7,442,000	7,882,000	8,182,000	100	101	102	(1)
北海道 (2)	100,100	103,500	107,000	559,600	597,200	601,300	104	107	105	(2)
青森 (3)	37,300	42,200	44,600	229,800	257,400	272,100	105	104	104	(3)
岩手 (4)	48,100	51,200	53,100	269,400	287,700	287,800	105	105	102	(4)
宮城 (5)	63,700	67,900	70,400	348,400	379,600	388,600	103	105	104	(5)
秋田 (6)	71,200	76,000	78,700	419,400	453,000	450,200	103	104	100	(6)
山形 (7)	57,700	61,100	63,500	354,300	380,700	386,100	103	105	102	(7)
福島 (8)	61,500	62,600	65,700	342,600	350,600	368,600	101	104	104	(8)
茨城 (9)	68,400	72,300	73,600	345,400	396,200	398,900	96	105	104	(9)
栃木 (10)	54,100	58,300	61,000	287,300	313,700	334,900	98	100	102	(10)
群馬 (11)	14,400	15,900	16,500	70,400	79,500	84,000	99	101	103	(11)
埼玉 (12)	31,700	33,900	34,500	152,200	169,800	165,900	97	102	98	(12)
千葉 (13)	55,200	58,300	59,400	297,500	325,300	329,100	101	104	104	(13)
東京 (14)	156	159	161	632	661	668	98	101	101	(14)
神奈川 (15)	3,130	3,140	3,150	15,200	15,700	15,600	96	101	100	(15)
新潟 (16)	102,400	105,300	107,100	539,600	576,000	594,400	97	101	103	(16)
富山 (17)	34,200	35,700	36,300	191,200	193,100	198,200	103	101	102	(17)
石川 (18)	23,600	24,300	25,000	123,200	123,400	130,500	101	98	101	(18)
福井 (19)	23,900	24,700	25,600	123,800	126,000	134,700	99	98	102	(19)
山梨 (20)	4,980	5,040	5,210	26,800	27,600	28,700	99	100	101	(20)
長野 (21)	32,200	32,800	33,700	194,500	195,800	213,000	97	96	101	(21)
岐阜 (22)	22,100	23,500	24,300	106,300	113,300	120,300	99	99	101	(22)
静岡 (23)	16,100	16,600	16,900	81,000	85,300	88,000	96	99	100	(23)
愛知 (24)	27,200	28,400	29,500	136,800	143,100	153,100	99	99	102	(24)
三重 (25)	27,700	28,900	29,500	135,700	141,900	152,500	98	98	103	(25)
滋賀 (26)	30,600	31,300	32,000	158,500	157,100	169,300	100	97	102	(26)
京都 (27)	14,400	14,900	15,300	73,400	75,500	81,100	100	99	104	(27)
大阪 (28)	5,440	5,540	5,630	26,900	27,400	28,300	100	100	101	(28)
兵庫 (29)	35,700	36,500	37,500	178,900	177,800	189,800	99	97	100	(29)
奈良 (30)	8,850	9,040	9,150	45,600	46,500	48,200	100	100	103	(30)
和歌山 (31)	6,900	7,230	7,380	34,400	35,600	37,300	101	99	102	(31)
鳥取 (32)	12,400	13,000	13,800	63,500	64,700	71,600	99	97	101	(32)
島根 (33)	17,500	18,200	18,800	88,000	91,500	96,600	98	99	101	(33)
岡山 (34)	29,600	31,100	32,000	149,500	153,300	163,800	98	94	97	(34)
広島 (35)	24,000	24,800	25,500	121,700	123,300	132,600	96	95	99	(35)
山口 (36)	20,500	21,500	22,800	100,700	103,800	111,000	97	96	97	(36)
徳島 (37)	11,700	12,800	13,100	53,500	57,900	63,800	97	95	103	(37)
香川 (38)	13,500	14,200	14,500	63,500	66,500	72,900	94	94	101	(38)
愛媛 (39)	14,600	14,900	15,200	71,200	73,000	74,900	98	98	99	(39)
高知 (40)	11,900	12,700	12,900	52,800	55,600	57,900	96	95	98	(40)
福岡 (41)	35,900	36,900	38,100	172,300	176,400	182,500	95	96	96	(41)
佐賀 (42)	25,000	25,300	26,400	128,300	121,400	129,100	99	92	93	(42)
長崎 (43)	12,500	13,200	13,500	59,900	61,100	63,200	100	97	98	(43)
熊本 (44)	34,300	36,100	37,500	171,500	180,500	188,300	97	97	97	(44)
大分 (45)	21,700	22,700	23,700	103,700	111,000	114,700	95	97	96	(45)
宮崎 (46)	16,100	17,400	18,700	74,700	84,600	92,600	93	98	100	(46)
鹿児島 (47)	20,900	22,200	23,000	95,700	102,300	112,500	95	95	101	(47)
沖縄 (48)	788	860	890	2,320	2,240	2,390	95	84	87	(48)